

## I 映画館での上映

1

概況

2

公開本数・公開作品

3

諸外国との比較

4

都道府県別概況

5

全国映画館リスト2024

## I | 映画館での上映

1

## 概況

日本映画製作者連盟(映連)の2024年「映画産業統計」(2025年1月発表)によると、2024年の観客数は1億4444万1000人で、「ほぼ新型コロナウイルス禍前の水準に戻った」とされる前年(2023年)の92.9%、興収は2069億8300万円で93.5%となった。

日本映画の興行収入は1558億円(前年比105.1%)で、歴代1位だった2016年の1486億円を大きく上回り、新記録となった。一方、外国映画は511億8300万円で前年比69.8%、コロナ前(2019年)の43%程度にとどまっている。日本映画と外国映画の興収のシェアは75.3:24.7と前年以上に差が開き、圧倒的に日本映画が強い状況が続いている。

2024年もアニメーション作品が興行収入の上位を占めた。上位4位までをアニメーションが独占した前年ほどではないが、100億円を越えた『名探偵コナン 100万ドルの五稜星(みちしるべ)』(158億円)、『劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦』(116.4億円)を初め、上位10作品中6作品がアニメーションとなっている。興収が10億円を越える作品は41本で、全興収の62.9%を占めている。(2023年66.1%)

## 映画館数・スクリーン数

2024年のスクリーン数は3709スクリーンで、前年から27スクリーン増加、映画館数は594館で2館増加している。2015年から2024年の10年間では、館数は15館、スクリーン数は242スクリーン増加している。シネマコンプレックス(シネコン)が22館256スクリーン増加し、シネコン以外の映画館は7館14スクリーン減少している。

シネコンは3291スクリーンで、全スクリーンの89%を占めている。館数でも、2011年以降はシネコンが「シネコン以外」の館数を上回り、2024年はシネコン363館、シネコン以外231館で、シネコンが61%となっている。

20年前、2005年の映画館数は806館であったが、その後の10年間で200館以上減少し、2015年には579館となっている。特に映画館のデジタル化が進められた2011～2013年の2年間で約80館減少した。2024年の映画館数は594館で、この10年間は映画館数に大きな変化はみられなかった。

コロナ禍による休館や観客の減少により閉館する映画館が増えるのではないかと懸念されたが、2020～2024年の4年間で閉館した映画館数はシネコンが13館、シネコン以外では約40館で、コロナの影響で特に閉館数が増えているという状況にはない。逆に、2020～2024年には23のシネコンが開館、シネコン以外でも20館が開館(再開は含まない)しており、これまでのところはコロナの影響は映画館の減少という形では現れていない。

→fig.01

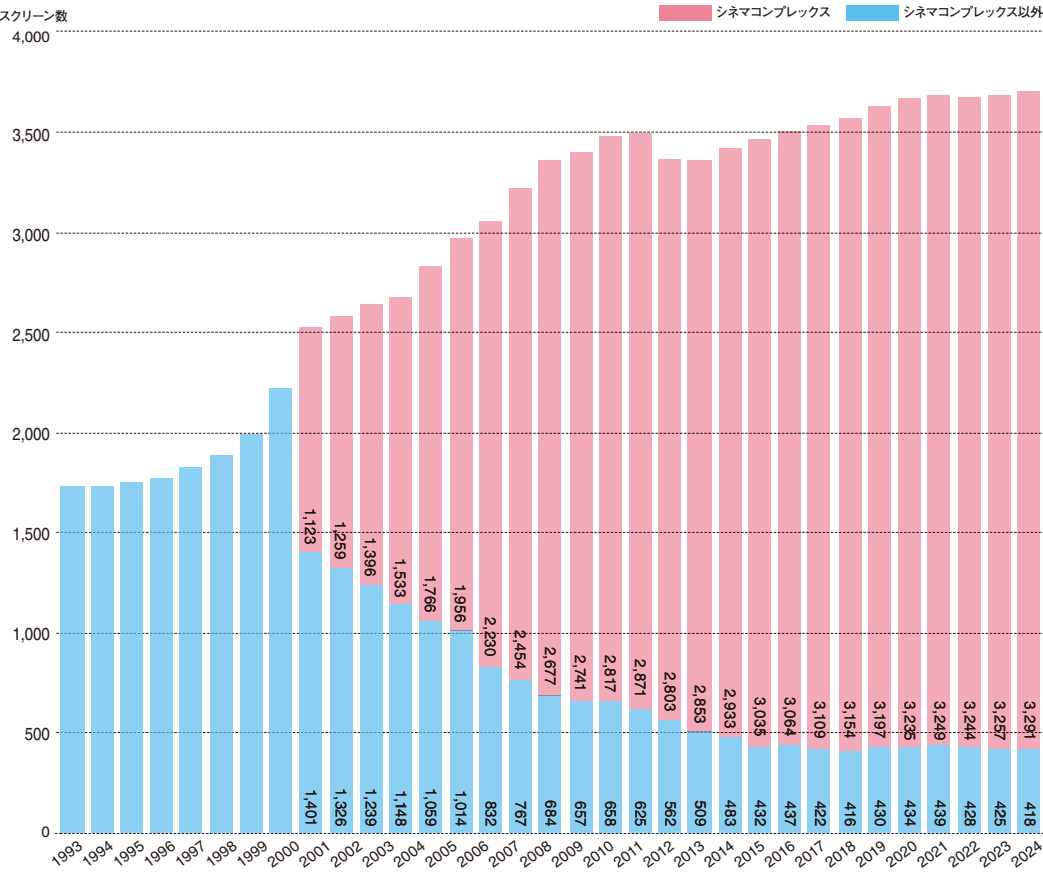
## 観客数・入場料金

2024年の観客数は、1億4444万1000人で前年比92.9%となったが、日本映画の興収は1558億円と歴代最高を記録している。他方、外国映画の興行収入は511億8300万円で前年を下回っている。2023年は『ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー』『アバター:ウェイ・オブ・ウォーター』『ミッション:インポッシブル/デッドレコニング PART ONE』といったハリウッド映画の大作・注目作が公開されたが、2024年は特に目立った作品がなく、興行収入10億円以上の作品をみても『インサイド・ヘッド2』(53.6億円)が第1位で、100億円を越えるような大ヒット作はなかった。(22P参照)

入場料金の平均は2020年以降、上昇を続け、2024年は1433円となった。2023年6月に大手のシネコンチェーンであるTOHOシネマズとTジョイが映画鑑賞料金を値上げ、一般料金は2000円となった。この後、他のシネコンも次々に鑑賞料金を値上げ、シネコン以外の映画館でも、他の物価や光熱費の上昇に合わせる形で入場料金の値上げに踏み切る映画館が増えている。

→fig.02

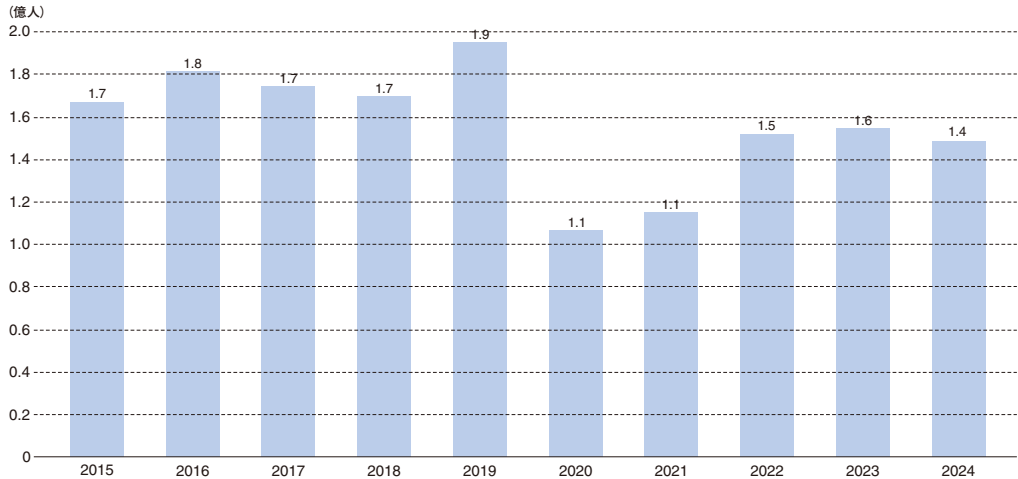
fig.01 スクリーン数の推移(1993-2024)



—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)、「映画上映活動年鑑」(コミュニティシネマセンター) 参照

	スクリーン数	シネコン	シネコン 以外
1993	1,734		
1994	1,758		
1995	1,776		
1996	1,828		
1997	1,884		
1998	1,993		
1999	2,221		
2000	2,524	1,123	1,401
2001	2,585	1,259	1,326
2002	2,635	1,396	1,239
2003	2,681	1,533	1,148
2004	2,825	1,766	1,059
2005	2,970	1,956	1,014
2006	3,062	2,230	832
2007	3,221	2,454	767
2008	3,361	2,677	684
2009	3,398	2,741	657
2010	3,475	2,817	658
2011	3,496	2,871	625
2012	3,365	2,803	562
2013	3,362	2,853	509
2014	3,416	2,933	483
2015	3,467	3,035	432
2016	3,501	3,064	437
2017	3,531	3,109	422
2018	3,570	3,154	416
2019	3,627	3,197	430
2020	3,669	3,235	434
2021	3,688	3,249	439
2022	3,672	3,244	428
2023	3,682	3,257	425
2024	3,709	3,291	418
前年比	27	34	-7

fig.02 観客数の推移(2015-2024)



—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

	入場者数 (千人)	前年比	平均入場 料金(円)
2014	161,116	5,228	1,285
2015	166,630	5,514	1,303
2016	180,189	13,559	1,307
2017	174,483	-5,706	1,310
2018	169,210	-5,273	1,315
2019	194,910	25,700	1,340
2020	106,137	-88,773	1,350
2021	114,818	8,681	1,410
2022	152,005	37,187	1,402
2023	155,535	3,530	1,424
2024	144,441	-11,094	1,433

## 種類別にみる映画館数・スクリーン数の変化

### シネマコンプレックス(シネコン)

シネコンは363館3291スクリーンで最も多く、全スクリーン数(3709)の89%を占めている。10年間で22館256スクリーン増加している。2000年代に入ってから2008年までは、毎年20～30館のペースでシネコンがつくられてきたが、2009年以降はそのスピードは緩やかになり、2014年以降、2021年までは、年間5～10館が開館。2022年は「ユナイテッド・シネマ秩父」(埼玉)、「TOHOシネマズ ららぽーと福岡」の2館、2023年は「109シネマズプレミアム新宿」、「TOHOシネマズすすきの」、「イオンシネマとなみ」(富山)、「TOHOシネマズららぽーと門真」(大阪)、「シネマサンシャイン飯塚」(福岡)の5館、2024年は「イオンシネマ新青森」、「T・ジョイ エミテラス所沢」、「ローソン・ユナイテッドシネマSTYLE-S みなとみらい」、「109シネマズゆめが丘」(神奈川)の4館が開館している。

一方、2022年には「ディノスシネマズ旭川」(北海道)、「大津アレックスシネマ」(滋賀)、「イオンシネマ西大和」(奈良)が閉館し、2023年には「フォーラム八戸」と「佐久アムシネマ」が、2024年には「MOVIX三郷」(埼玉)が閉館している。

### 既存興行館

既存興行館は62館139スクリーンとなり、10年間で、映画館数23館減、スクリーン数60スクリーン減となっている。2010～2014年、映画上映のデジタル化が進み、デジタルシネマ機の導入という大規模な設備投資に耐えられない既存興行館の閉館が続き、2010年に176館あった館数は5年間でほぼ半減、2020年には67館まで減少したが、現在は落ち着いた状況となっている。

既存興行館の中には、ミニシアター的なプログラム編成に変えてシネコンのプログラムと差異化する映画館が増え、閉館した既存興行館が別の運営団体によってミニシアターとして再開される例も増えている。また、「新しい」既存興行館の開館もあり(「シネマサンライズ日立」(茨城)、「大川シネマホール」(福岡)等)、従来の「シネマコンプレックス」「既存興行館」「ミニシアター/名画座」という分類で映画館の現状を把握することが難しくなっている。

### ミニシアター/名画座

ミニシアター/名画座は、142館246スクリーンで、この10年間で31館60スクリーン増加している。2022～2023年、「ストレンジャー」(東京・墨田区)、「シモキタ・エキマエ・シネマ K2」(世田谷区)、鳥根県益田市の閉館した映画館を再開した「小野沢シネマ」、「キノシネマ神戸国際」(「神戸国際松竹」跡)、「キノシネマ新宿」(「EJアニメシアター」跡)、「扇町キネマ」(大阪)、「シネマ203」(和歌山)、「シネマポスト」(下関)といったミニシアターが開館し、2024年には「キノシネマ心斎橋」、神奈川県「小田原シネマ館」、静岡県伊東市に「金星シネマ」が開館している。いったん閉館した「鶴岡まちなかキネマ」と「豊岡劇場」は2023年3月に再開を果たし、2023年に閉館した「名古屋シネマテーク」は2024年「ナゴヤキネマ・ノイ」として生まれ変わった。

映画館とは異なる上映の場、あるいは新しい形の映画館ともよぶべき場も次々に生まれている。鳥取県湯梨浜町では元・小学校の教室をリノベーションした「ジグシアター」が2021年7月から上映を始め(月1企画10日間程度)、秋田市には古民家を改装した「アウトクroppシネマ」(2021)、岡山県真庭市には「ビクトリイシアター」(2022)、長野県伊那市には“宿泊可能な複合施設”「赤石商店」(月に1週間程度)が開館している。このような、従来の「興行」とは異なる上映の場をつくる動きは、今後も増えていくものと思われる。

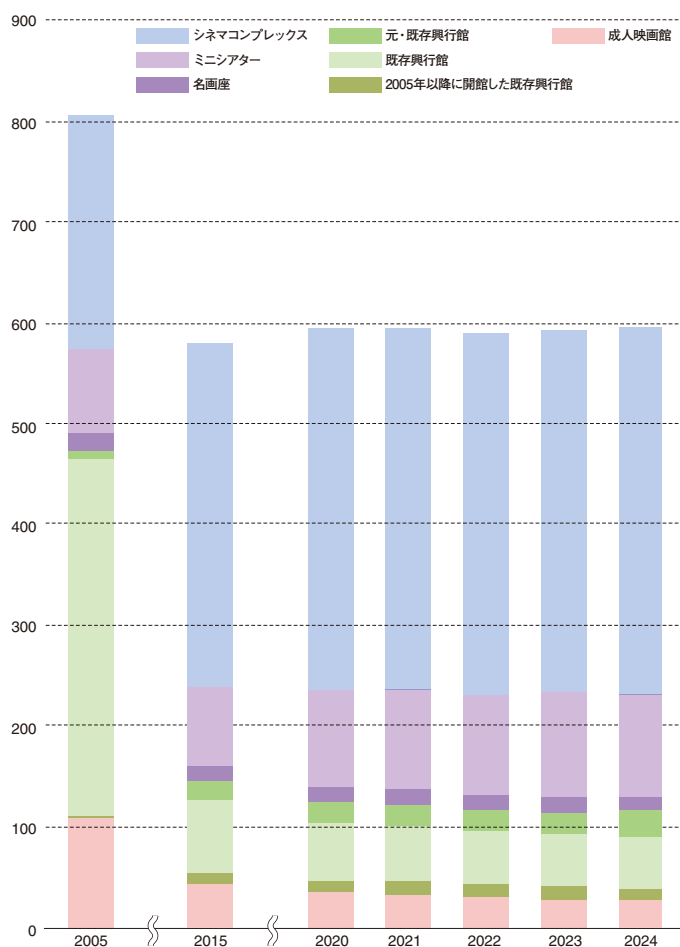
2022～2023年はミニシアター閉館のニュースも多く聞かれた。2022年7月、ミニシアターの草分けである「岩波ホール」(東京・神保町)が閉館、関西のミニシアター文化を牽引してきた「テアトル梅田」が9月に、永年親しまれてきた名画座「ギンレイホール」が11月に閉館している。2023年には名古屋の老舗ミニシアター「名古屋シネマテーク」と「名演小劇場」が相次いで閉館、京都でもリニューアル開館から4年ほどの「京都みなみ会館」が閉館した。2024年には仙台の「チネ・ラヴィータ」、福岡の老舗映画館「中洲大洋」が閉館している。

成人映画館は、27館33スクリーンとなり、10年間で半減している。

デジタルシネマ機の導入から10年を経て、映画館は新しい機材への更新、買換えの時期を迎えている。1台1000万円近い大規模な設備投資が必要であり、既存興行館やミニシアターのように小規模な映画館にとって、これをどう乗り切るのが喫緊の課題となっている。建物や設備の老朽化も進み、コロナの影響から脱したと言われる2023年以降に経営状況が深刻化している映画館も少なくない。コロナ禍においても映画館継続のための支援を求めるクラウドファンディングや募金活動を行った映画館は少なかったが、2024年には全興連によるミニシアター支援プロジェクト「#ミニシアターへ行こう!」が始まり、7館のミニシアターがクラウドファンディングに取り組んでいる(2025年1月末現在)。

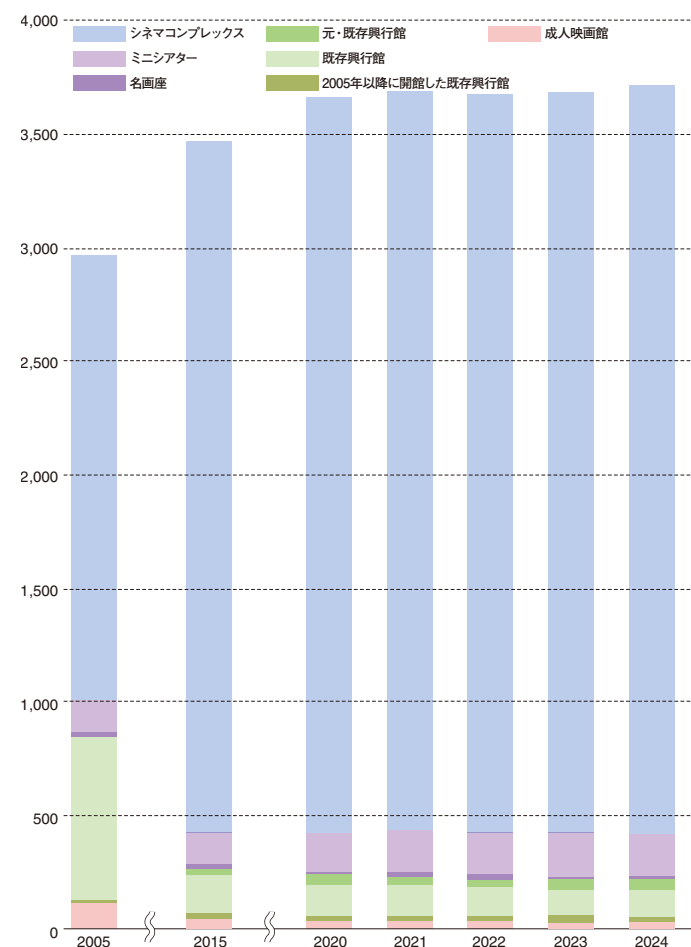
→ fig.03, 04

fig.03 種類別映画館数(サイト数)の変化(2005-2024)



	2005	2015	2020	2021	2022	2023	2024		2015 ↓ 2024
シネマコンプレックス	233	341	360	360	359	360	363	61%	22
ミニシアター	107	111	132	136	136	140	142	24%	31
ミニシアター	83	78	95	99	99	104	103		25
名画座	18	15	15	15	15	14	13		-2
元・既存興行館	6	18	22	22	22	22	26		8
既存興行館	359	85	67	67	66	64	62	10%	-23
既存興行館	355	74	57	55	53	52	50		-24
2005年以降に開館した既存興行館	4	11	10	12	13	12	12		1
成人映画館	107	42	36	33	29	28	27	5%	-15
シネマコンプレックス以外	573	238	235	236	231	232	231	39%	-7
合計	806	579	595	596	590	592	594		15

fig.04 種類別スクリーン数の変化(2005-2024)



	2005	2015	2020	2021	2022	2023	2024		2015 ↓ 2024
シネマコンプレックス	1,956	3,035	3,235	3,249	3,244	3,257	3,291	89%	256
ミニシアター	167	186	233	240	241	244	246	7%	60
ミニシアター	135	140	178	183	184	189	181		41
名画座	21	18	16	17	17	15	14		-4
元・既存興行館	11	28	39	40	40	40	51		23
既存興行館	723	199	159	159	152	147	139	4%	-60
既存興行館	714	176	139	136	128	124	117		-59
2005年以降に開館した既存興行館	9	23	20	23	24	23	22		-1
成人映画館	123	47	42	40	35	34	33	1%	-14
シネマコンプレックス以外	1,013	432	434	439	428	425	418	11%	-14
合計	2,969	3,467	3,669	3,688	3,672	3,682	3,709		242

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)、「映画上映活動年鑑」(コミュニティシネマセンター)参照

—本年鑑では、各年の1月1日から12月31日までの間に営業があった映画館を対象としている。「日本映画産業統計」では各年の12月末の時点で営業している映画館を対象としているため、両者のスクリーン数には多少の齟齬が生じている。



地方別にみる種類別映画館数・スクリーン数

2024年の全国の映画館数は594館で10年間で15館増加、スクリーン数は3709スクリーンで242スクリーン増となっている。いずれの地方でもスクリーン数は増加している。人口は関東地方を除くすべての地方で減少しているが、北海道・東北地方は7.8%減少、中国・四国地方は6.5%減少と、他の地方に比べて人口の減少率が高く、減少率上昇の速度も速い。映画館数・スクリーン数の増減は人口の増減に対応しており、スクリーン数の偏在、地域的不均衡が年ごとに進んでいる。この10年間で映画館数が増えているのは関東地方と中国・四国地方、九州・沖縄地方で、九州・沖縄地方はこの10年間で6館66スクリーン増加している。全人口、全スクリーン数に占める各地方のスクリーン数のシェアを比較すると、中部地方と九州・沖縄地方が人口シェアに比べてスクリーンシェアが1%以上高い。

シネコンは、ほとんどの地域において映画館数、スクリーン数ともに増加しているが、北海道・東北地方では館数が1館減となっている。2000～2008年までの毎年20～30館のシネコンが開館していた時期に比較すると、各地方とも増加のペースは緩やかになっている。この10年間では、関東地方が11館124スクリーン増、中部地方が3館37スクリーン増、九州・沖縄地方で7館61スクリーン増と大幅に増加している。他方、北海道・東北地方は2スクリーン増、中国・四国地方は1館14スクリーン増にとどまっている。

「シネコン以外」の数値は、ほとんどの地方で館数、スクリーン数ともに減少しているが、「ミニシアター / 名画座」はいずれも10年前よりも増加している。この10年間で約40館のミニシアター / 名画座及び既存興行館が開館しており、東京・大阪・名古屋・京都・広島といった大都市以外でも、那珂市(あまや座)、青梅市(シネマネコ)、上越市(高田世界館)、上田市(上田映劇/トラウム・ライゼ)、伊東市(金星シネマ)、丹波市(エビスシネマ)、益田市(小野沢シネマ)、下関市(シネマポスト)、唐津市(シアターエンヤ)、沖縄市(シアタードーナツ、シネマプラザハウス1954)等々、20万人以下の中小市町村でのミニシアターの開館も続いている。

「既存興行館」はこの10年で、北海道・東北地方以外のすべての地方で減少し、関東で6館16スクリーン減、中部地方9館15スクリーン減、近畿地方4館19スクリーン減となっている。2024年には、仙台市の「チネ・ラヴィータ」、所沢市の「新所沢レッツ・シネパーク」、東京「吉祥寺プラザ」、福岡「中洲大洋」といった永年地域に親しまれてきた既存館が閉館している。

fig.05 映画館がある市町村の数(2024)

人口規模	市町村数	シェア	映画館がある市町村の数	割合*	映画館数	シェア
100万人以上	12	1%	12	100%	169	28%
50万～100万人	16	1%	16	100%	52	9%
30万～50万人	45	3%	42	93%	90	15%
20万～30万人	37	2%	30	81%	53	9%
10万～20万人	152	9%	94	62%	118	20%
5万～10万人	241	14%	55	23%	58	10%
5万人未満	1216	71%	54	4%	54	9%
	1719		303	18%	594	

— \*該当する人口規模の市町村のうち映画館がある市町村の割合

人口規模と映画館

全市町村1719のうち、映画館があるのは303市町村18%にとどまっている。80%以上の1416市町村には映画館が存在せず、人口5万人未満の市町村の96%、1162の市町村には映画館が1館もない。14～15ページの地図をみてもわかる通り、映画館の空白地域が拡大している。これは、当たり前のことと思われるかもしれないが、文化を享受する権利において地域格差が生じていること、取りわけ、子どもたちの映画体験に大きな格差が生じるという点では大きな問題である。一方で、前述のように、中小都市において、新たに小規模映画館や定期的な上映の場をつくらうとする動きが増えている。これは、興行収入や観客動員数といった経済原理だけでははかることのできない、地域における上映活動の重要性を示す証左であると考えられる。このような上映活動を支えるためにも映画館の実態に対応した支援プログラムの実現が求められる。

→ fig.05, 06

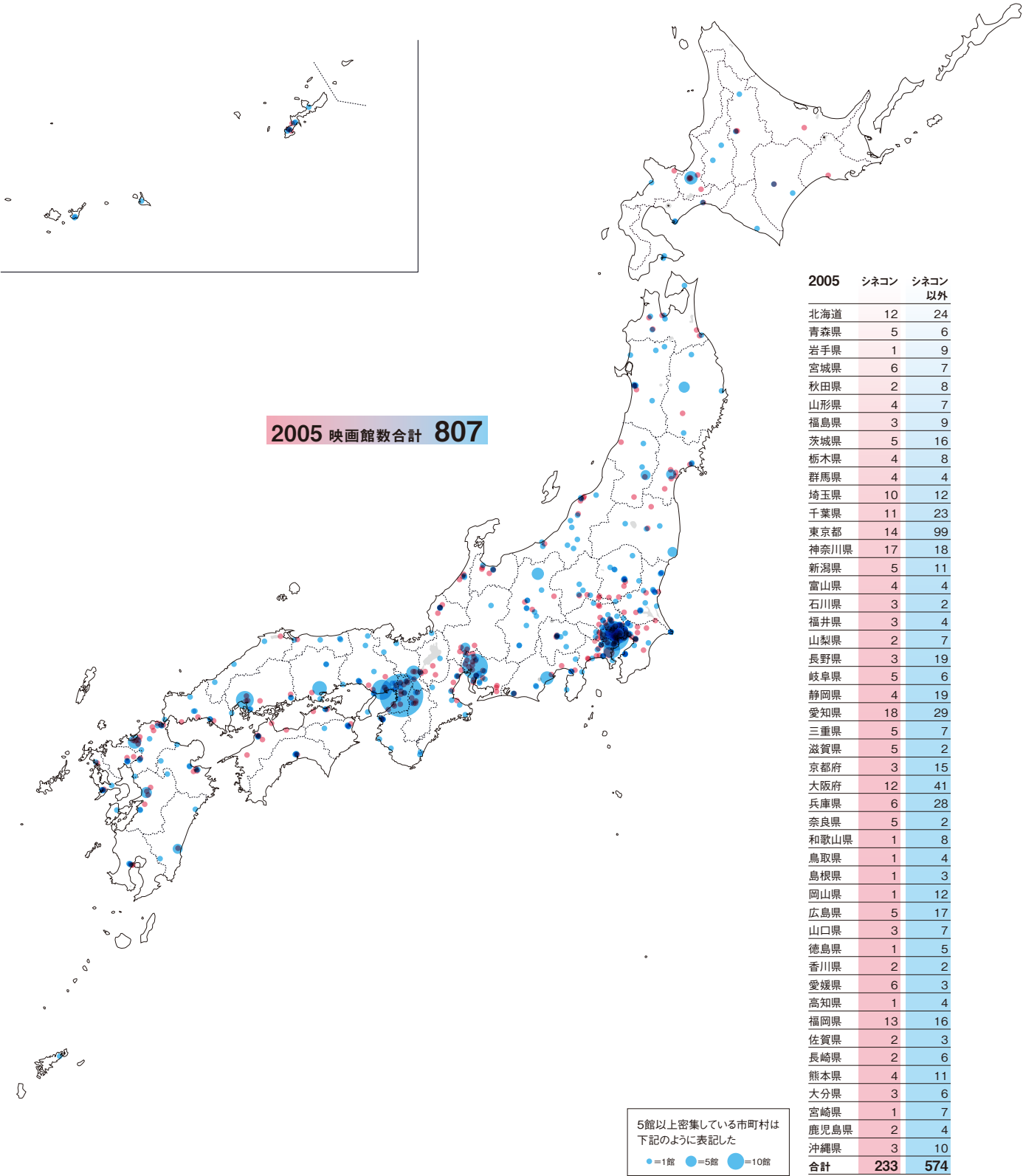
fig.06 地方別にみる種別別映画館数・スクリーン数の変化(2015-2024)

	2024		2023		2015		2015→2024		2023→2024		
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	
北海道・東北地方											北海道・東北地方の人口
シネマコンプレックス	38	297	38	298	39	295	-1	2	0	-1	2024 13,260,966
ミニシアター	9	21	8	21	9	19	0	2	1	0	2015 14,389,701
既存興行館	14	32	15	34	14	32	0	0	-1	-2	増減(人) -1,128,735
成人映画館	2	2	3	3	4	4	-2	-2	-1	-1	増減率(%) -7.8%
シネコン以外	25	55	26	58	27	55	-2	0	-1	-3	
北海道・東北地方合計	63	352	64	356	66	350	-3	2	-1	-4	
関東地方											関東地方の人口
シネマコンプレックス	127	1,194	124	1,160	116	1,070	11	124	3	34	2024 43,602,376
ミニシアター	57	95	56	93	46	76	11	19	1	2	2015 42,995,031
既存興行館	16	30	16	31	22	46	-6	-16	0	-1	増減(人) 607,345
成人映画館	4	7	4	7	5	7	-1	0	0	0	増減率(%) 1.4%
シネコン以外	77	132	76	131	73	129	4	3	1	1	
関東地方合計	204	1,326	200	1,291	189	1,199	15	127	4	35	
中部地方											中部地方の人口
シネマコンプレックス	68	626	69	634	65	589	3	37	-1	-8	2024 20,613,786
ミニシアター	23	33	21	33	17	24	6	9	2	0	2015 21,460,745
既存興行館	8	24	9	26	17	39	-9	-15	-1	-2	増減(人) -846,959
成人映画館	6	6	6	6	9	9	-3	-3	0	0	増減率(%) -3.9%
シネコン以外	37	63	36	65	43	72	-6	-9	1	-2	
中部地方合計	105	689	105	699	108	661	-3	28	0	-10	
近畿地方											近畿地方の人口
シネマコンプレックス	55	516	55	516	54	498	1	18	0	0	2024 21,905,135
ミニシアター	20	43	21	44	17	32	3	11	-1	-1	2015 22,541,298
既存興行館	11	28	11	30	15	47	-4	-19	0	-2	増減(人) -636,163
成人映画館	9	10	9	10	11	12	-2	-2	0	0	増減率(%) -2.8%
シネコン以外	40	81	41	84	43	91	-3	-10	-1	-3	
近畿地方合計	95	597	96	600	97	589	-2	8	-1	-3	
中国・四国地方											中国・四国地方の人口
シネマコンプレックス	30	243	30	243	29	229	1	14	0	0	2024 10,532,898
ミニシアター	14	22	14	21	10	15	4	7	0	1	2015 11,264,210
既存興行館	5	8	5	9	8	17	-3	-9	0	-1	増減(人) -731,312
成人映画館	2	2	2	2	2	3	0	-1	0	0	増減率(%) -6.5%
シネコン以外	21	32	21	32	20	35	1	-3	0	0	
中国・四国地方合計	51	275	51	275	49	264	2	11	0	0	
九州・沖縄地方											九州・沖縄地方の人口
シネマコンプレックス	45	415	44	406	38	354	7	61	1	9	2024 13,946,570
ミニシアター	19	32	19	32	12	20	7	12	0	0	2015 14,441,199
既存興行館	8	17	8	17	9	18	-1	-1	0	0	増減(人) -494,629
成人映画館	4	6	4	6	11	12	-7	-6	0	0	増減率(%) -3.4%
シネコン以外	31	55	31	55	32	50	-1	5	0	0	
九州・沖縄地方合計	76	470	75	461	70	404	6	66	1	9	
全国											全国の人口
シネマコンプレックス	363	3,291	360	3,257	341	3,035	22	256	3	34	2024 123,861,731
ミニシアター	142	246	139	244	111	186	31	60	3	2	2015 127,092,184
既存興行館	62	139	64	147	85	199	-23	-60	-2	-8	増減(人) -3,230,453
成人映画館	27	33	28	34	42	47	-15	-14	-1	-1	増減率(%) -2.5%
シネコン以外	231	418	231	425	238	432	-7	-14	0	-7	
全国合計	594	3,709	591	3,682	579	3,467	15	242	3	27	

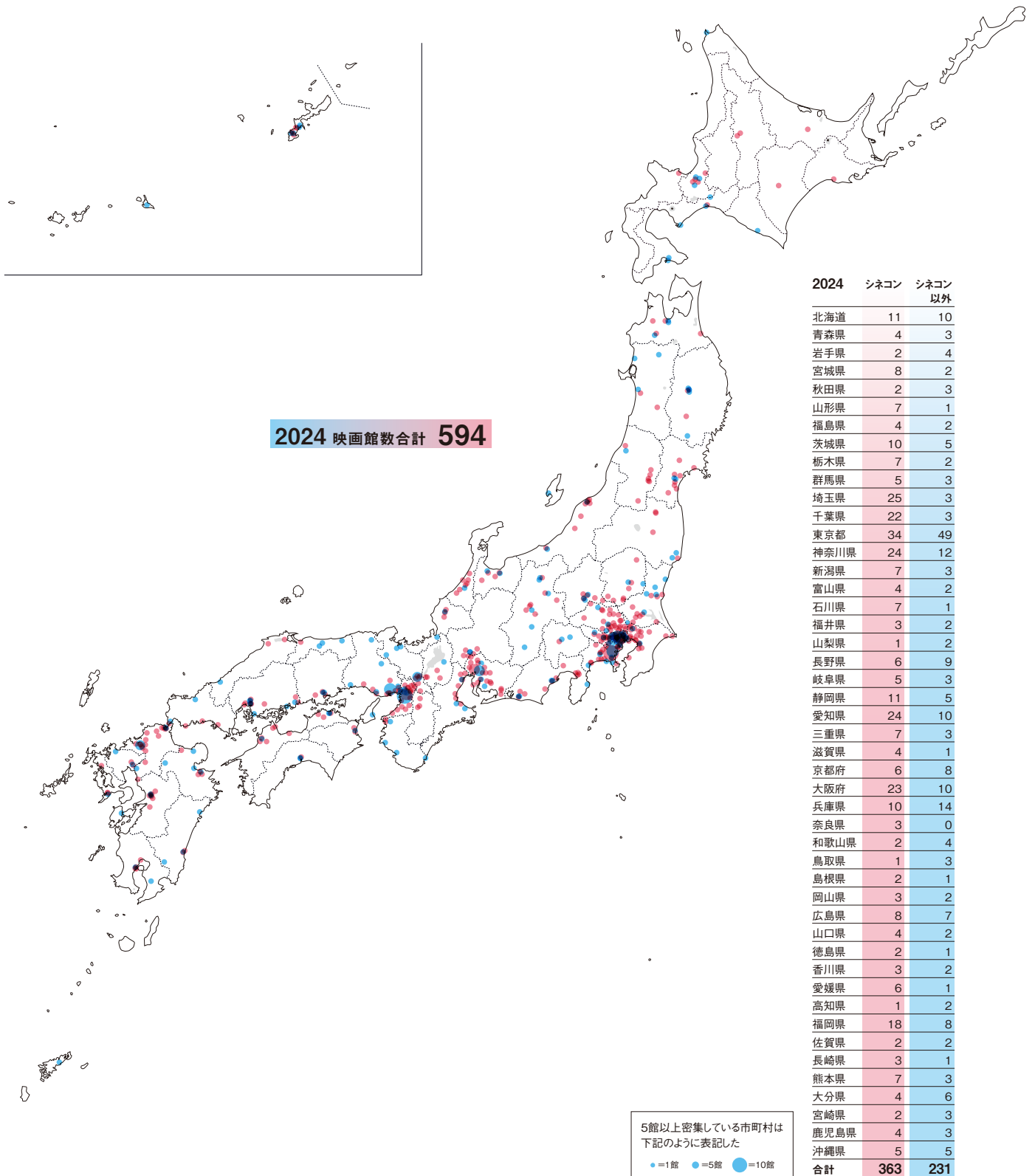
—人口：各都道府県発表(各年10月1日現在) 参照

—映画館数・スクリーン数：「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)、『映画上映活動年鑑』(コミュニティシネマセンター) 参照

fig.07  
全国映画館地図(2005 / 2024)







公開本数・公開作品

公開本数

映画の公開本数は、1955年以降2004年までは大体550～650本を推移してきた。その後、デジタル化の進行とともに増加し続け、2013年には日本映画、外国映画とも500本以上が公開され、公開本数は1000本を越えた。コロナ禍にあった2020年も日本映画506本、外国映画511本の1017本が公開されている。

2024年の公開本数は、日本映画685本、外国映画505本、合計1190本であった(映連発表数値)。前年の2023年(1232本)から42本減少しているが、これは主に外国映画の公開本数が50本以上減少したことによる。

→fig.08

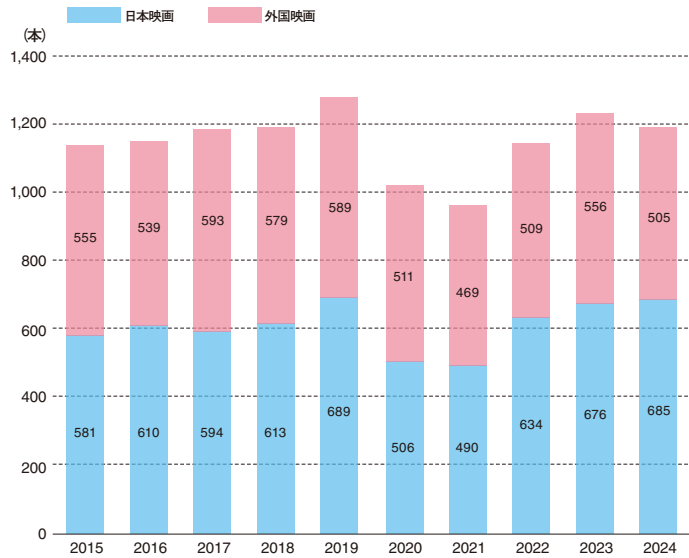
興行収入

2024年の興行収入は、日本映画が1558億円(前年比105.1%)、外国映画が511億8300万円(前年比69.8%)、合計2069億8300万円で前年を6.5%下回っている。コロナ前の2019年は非常に好調であった(2611億8000万円)こともあり、これと比較すると20.8%減となるが、10年前の2015年(2171億1900万円)とほぼ同水準を保っている。

日本映画の興行収入は前年比5.1%増、2019年(1421.92億円)と比較しても9.6%の増加となり、興収における日本映画のシェアは75.3%、外国映画は24.7%と前年以上に差が広がり、コロナ禍以降の外国映画のシェア低迷のトレンドが顕著になっている(2017-2019年の外国映画のシェアは45%以上)。

→fig.09, fig.10

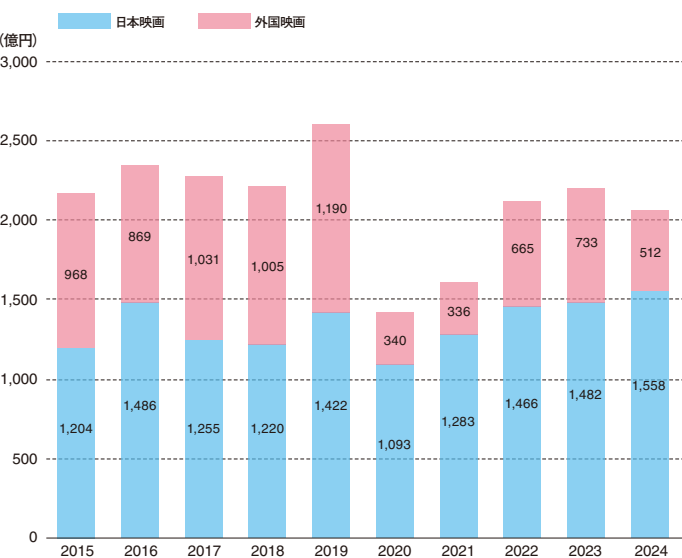
fig.08 公開本数の推移(2015-2024)



	公開本数			シェア	
	日本映画	外国映画	合計	日本映画	外国映画
2015	581	555	1,136	51.1%	48.9%
2016	610	539	1,149	53.1%	46.9%
2017	594	593	1,187	50.0%	50.0%
2018	613	579	1,192	51.4%	48.6%
2019	689	589	1,278	53.9%	46.1%
2020	506	511	1,017	49.8%	50.2%
2021	490	469	959	51.1%	48.9%
2022	634	509	1,143	55.5%	44.5%
2023	676	556	1,232	54.9%	45.1%
2024	685	505	1,190	57.6%	42.4%

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

fig.09 興行収入の推移(2015-2024)



	興行収入 (億円)			シェア	
	日本映画	外国映画	合計	日本映画	外国映画
2015	1,203.67	967.52	2,171.19	55.4%	44.6%
2016	1,486.08	869.00	2,355.08	63.1%	36.9%
2017	1,254.83	1,030.89	2,285.72	54.9%	45.1%
2018	1,220.29	1,004.82	2,225.11	54.8%	45.2%
2019	1,421.92	1,189.88	2,611.80	54.4%	45.6%
2020	1,092.76	340.09	1,432.85	76.3%	23.7%
2021	1,283.39	335.54	1,618.93	79.3%	20.7%
2022	1,465.79	665.32	2,131.11	68.8%	31.2%
2023	1,481.81	733.01	2,214.82	66.9%	33.1%
2024	1,558.00	511.83	2,069.83	75.3%	24.7%

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

## 公開規模

コミュニティシネマセンターではネット上に掲載された情報等を元に独自に「公開作品リスト」を作成している。2024年の公開本数は日本映画604本、外国映画711本、合計1315本（都内1-2館特集上映のみでの公開作品を含めると1452本）という数値を得ている。映連発表の数値は日本映画685本、外国映画505本、計1190本（ODSを加えると1628本）で、取り分け、外国映画の公開本数に大きな開きが出ている。この要因としては以下のことが考えられる。

近年、旧作の特集上映やデジタルリマスター版の再上映が急増しており、特集上映の中には年をまたいで巡回が続くもの、多少プログラムを変更して再上映されるものも少なくない。

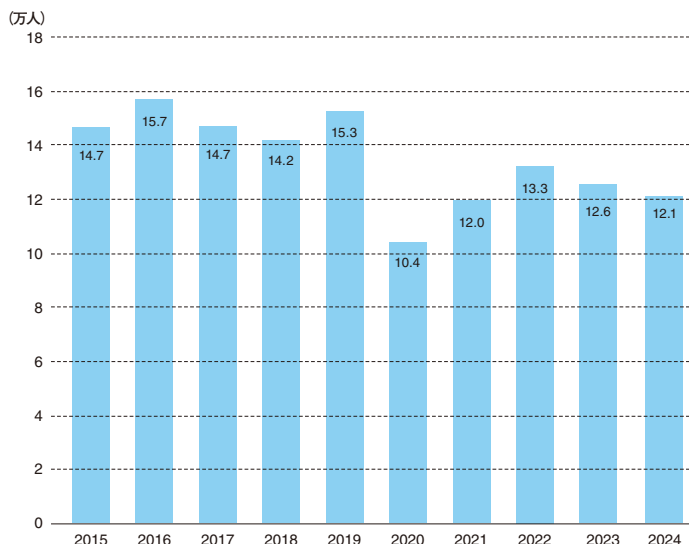
これらをどのような基準をもって公開作品にカウントするかによって、本数に大きな開きが生じることになる。コミュニティシネマセンターでは複数の映画館を巡回した特集上映についてはかなりのものをその年の公開作品としてカウントしており、2024年の外国映画の公開本数は前年を上回る711本という数値を示している。

両者の数値の違いが大きくなっている点は気になるところだが、前年からの継続性を鑑みて、以下ではこちらで得たデータを元に公開作品の中味を見てみる。

## 公開規模

2024年に「300館以上」で公開されたのは、日本映画67本、外国映画34本であった。日本映画で370館以上で公開された作品は、興行収入が100億円を越えた『名探偵コナン 100万ドルの五稜星』（4月）や『劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦』（2月）に加え、『映画ドラえもん のび太の地球交響楽』（3月）、『「鬼滅の刃」絆の奇跡、そして柱稽古へ』（2月）、『劇場版 SPY×FAMILY CODE: White』（12月）といった定番のアニメーションや、『キングダム 大將軍の帰還』（7月）、久しぶりのコンビ復活が話題となった『帰ってきた あぶない刑事』（5月）、『踊る大捜査線シリーズ』の最新作『室井慎次』の2作品（10-11月）、人気テレビシリーズの映画化『劇場版ドクター X』（12月）、『グ

fig.10 1 作品当たりの観客数の推移(2015-2024)



	公開本数(本)	観客者数(千人)	1作品当たりの観客数	前年比
2015	1,136	166,630	146,681	10,604
2016	1,149	180,189	156,822	10,141
2017	1,187	174,483	146,995	-9,828
2018	1,192	169,210	141,955	-5,040
2019	1,278	194,910	152,512	10,557
2020	1,017	106,137	104,363	-48,149
2021	959	114,818	119,727	15,364
2022	1,143	152,005	132,988	13,261
2023	1,232	155,535	126,246	-6,742
2024	1,190	144,441	121,379	-4,867

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

ランメゾン・パリ』(12月)など14作品に上る。外国映画では、『怪盗グルーのミニオン超変身』(7月)、『インサイド・ヘッド2』(8月)、『モアナと伝説の海2』(12月)、『ウィッシュ』(2023年12月)、『ライオン・キング ムファサ』(12月)、『エイリアン ロムルス』(9月)、『猿の惑星 キングダム』(5月)、『FLY! フライ!』(3月)の8本が370館以上で公開された。興収を見ると最もヒットした『インサイド・ヘッド2』も53.6億円にとどまっており、10億円に届かない作品も少なくない。コロナ禍前の2019年には133億円の興収を得た『アナと雪の女王2』を筆頭に、25本の作品が10億円以上の興収を上げていたことを考えると、現状は非常に厳しいものがある。

そんな中、本国では2023年に公開され、第96回アカデミー賞作品賞等を受賞した『オッペンハイマー』がようやく3月に公開されたことが大きな話題となった。35ミリフィルムでの上映も行われ、同作品公開時にはC.ノーラン監督の旧作2作品も上映されて多くの映画ファンを集めた。

2020年以降、シネコンはそれまで上映しなかった多様な作品を上映するようになった。また、コロナ以前の2019年までは150館以上で大規模公開される作品のほとんどは「シネコンのみ」で上映されていたが、2021年以降はシネコン以外の映画館、ミニシアターでも上映されることが増えている。シネコンとミニシアターの両方で公開される作品は、2019年は日本映画で104本(18%)、外国映画では125本(24%)であったが、2024年は日本映画で227本(38%)、外国映画では343本(48%)と倍増している。シネコンとミニシアターでの上映作品の明確な線引きはなくなりつつある。

そのような状況でも、ミニシアターでしか上映されない作品の割合はあまり変化していない。ミニシアターのみで上映される作品は日本映画では205本(34%)と前年比で7%減少しているが、外国映画では312本(44%)で、前年より9%も増加している。日本映画、外国映画を合わせると517本(39%)がミニシアターでの公開となっている。

ミニシアターでしか上映されない小規模作品の中には、国際映画祭等で高い評価を得た作品や、世界的巨匠の作品、重要なドキュメンタリー映画、多くの若い作り手たちの野心的な作品が含まれている。旧作のデジタルリマスター版のリバイバル上映や監督の特集上映なども、その多くがミニシアターのみで行われている。

## 公開作品の種類

### 日本映画

2024年の日本映画の公開本数は604本と、前年より52本減少している。

その内訳は劇映画344本(40減)、アニメーション63本(30減)、ドキュメンタリー89本(5増)、公演やライブ等のODSが53本(30増)、特集上映(旧作のデジタルリマスター版含む)が55本(17減)となっている。

上位3位までをアニメーションが占めて圧倒的な集客力を見せた2023年ほどではないが、2024年も『名探偵コナン 100万ドルの五稜星』が158億円、『劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦』が116.4億円と100億円を越えたのをはじめ、『劇場版SPY x FAMILY CODE: White』、『機動戦士ガンダム SEED FREEDOM』といったアニメーション作品6本が興行収入のトップ10に入る強さを見せている。人気漫画のアニメ化作品『ルックバック』(6月)は、上映時間が58分と短いにも関わらず、徐々に館数を広げ最終的には300館を越える映画館で公開され、興行収入20.4億円の大ヒットとなった。実写映画化もされた『がんばっていきまっしょい』のCGアニメ化作品が公開され、幅広い層の関心を集め、山下敦弘監督がアニメーション作家の久野遥子とともに監督を務め、ロトスコープという手法でつくられたアニメーション『化け猫あんずちゃん』も話題を集めた。

劇映画では前述の大規模公開作品に加え、ヴィム・ヴェンダース監督の『PERFECT DAYS』(2023年12月)がシネコンとミニシアターの両方で公開され、公開館数は270館を越え、興収も13.3億円の大ヒットを記録して

いる。

内外で高い評価を受けている濱口竜介監督(『悪は存在しない』4月)、三宅唱監督(『夜明けのすべて』2月)、黒沢清監督らの新作が公開され、特に黒沢監督は『蛇の道』(6月)、『Cloud クラウド』(9月)、『Chime』(8月)の三作品が公開され、ゆるぎない存在感を示している。国際映画祭では多くの若い監督の作品が注目を集めた。山中瑤子監督『ナミビアの砂漠』(9月)をはじめ、奥山大史監督『ぼくのお日さま』(9月)、空音央監督『HAPPYEND』(10月)、五十嵐耕平監督『SUPER HAPPY FOREVER』(9月)、呉美保監督の『ぼくが生きてる、ふたつの世界』(9月)といった作品は多くの若い観客を集めた。また、清原惟監督『すべての夜を思いだす』(3月)、杉田協士監督『彼方のうた』(1月)、太田達成監督『石がある』(9月)などは映画館だけではなく、多くの映画祭や自主上映会でも上映された。東京国際映画祭で『敵』(吉田大八監督)が、日本映画として19年ぶりにグランプリを受賞したことも話題を集めた。

また、池袋シネマ・ロサで上映がスタートしたインディペンデント映画『侍タイムスリッパー』(8月)がロングランヒット、公開館数が252まで広がったことも大きな注目を集めた。

2024年も多くのドキュメンタリー映画が公開された。公開された89本のうち、69本がミニシアターのみで上映されている。2024年のドキュメンタリー映画で最も注目されるのは藤野知明監督の『どうすればよかったか?』である。山形国際ドキュメンタリー映画祭で上映された同作は公開前から話題となり、公開されるや多くのミニシアターで満席が続き、シネコンにまで拡大公開される事態となった。また、死刑囚として47年間獄中生活を送り、2024年10月に無罪が確定した袴田巖さんを追ったドキュメンタリー『拳と折り 袴田巖の生涯』(10月)、1992年に起きた「飯塚事件」を30年にわたって追いつけたNHK制作のドキュメンタリーの劇場版『正義の行方』(4月)、1998年に起きた和歌山毒物カレー事件のドキュメンタリー『Mommy』

fig.11 2024年に映画館で公開された作品の公開規模

日本映画																				
公開館数	2024		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ	2023		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ	2022		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ	2019		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ
300館以上	67	11%	59	8	0	59	9%	54	5	0	63	12%	57	6	0	43	7%	43	0	0
150～299館	50	8%	23	27	0	42	6%	27	15	0	45	8%	28	17	0	39	7%	38	1	0
100～149館	41	7%	14	27	0	34	5%	14	20	0	35	7%	13	22	0	47	8%	28	19	0
70～99館	46	8%	18	28	0	39	6%	20	19	0	39	7%	18	21	0	32	6%	16	14	2
50～69館	48	8%	11	37	0	51	8%	20	29	2	42	8%	12	26	4	42	7%	22	16	4
30～49館	65	11%	23	29	13	64	10%	10	47	7	73	14%	18	38	17	55	10%	28	15	12
10～29館	117	19%	11	43	63	169	26%	19	45	105	118	22%	18	24	76	125	22%	42	21	62
2～9館	170	28%	13	28	129	198	30%	14	28	156	123	23%	7	15	101	194	34%	13	18	163
公開本数合計①	604		172	227	205	656		178	208	270	538		171	169	198	577		230	104	243
			28%	38%	34%			27%	32%	41%			32%	31%	37%			40%	18%	42%
49館以下で公開された作品本数	352					431					314					374				
うちミニシアターのみでの上映作品	205		58%			268		62%			194		62%			237		63%		
その他（東京1館のみでの公開など）	84					86					101					73				
日本映画公開本数合計②	688					742					639					650				

外国映画																				
公開館数	2024		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ	2023		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ	2022		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ	2019		シネコンのみ	シネコン+ミニシアター	ミニシアターのみ
300館以上	34	5%	31	3	0	30	5%	29	1	0	29	5%	27	2	0	32	6%	32	0	0
150～299館	39	5%	26	13	0	26	4%	21	5	0	23	4%	13	10	0	18	4%	16	2	0
70～149館	78	11%	15	63	0	66	10%	13	53	0	50	8%	5	45	0	42	8%	17	23	2
50～69館	84	12%	7	75	2	81	13%	6	73	2	61	10%	1	53	7	33	6%	3	20	10
30～49館	112	16%	1	83	28	123	19%	5	84	34	135	21%	6	74	55	97	19%	4	44	49
10～29館	206	29%	10	90	106	243	38%	30	72	141	247	39%	26	38	183	174	34%	25	27	122
2～9館	158	22%	2	16	176	65	10%	4	14	47	90	14%	6	11	73	118	23%	17	9	92
公開本数合計①	711		92	343	312	634		108	302	224	635		84	233	318	514		114	125	275
			13%	48%	44%			17%	48%	35%			13%	37%	50%			22%	24%	54%
49館以下で公開された作品本数	476					431					472					389				
うちミニシアターのみでの上映作品	310		65%			222		52%			311		66%			263		68%		
その他（都内1～2館での上映など）	53					89					74					128				
外国映画公開本数合計②	764					723					709					642				
日本映画①+外国映画①	1315		264	570	517	1290		286	510	494	1173					1091				
			20%	43%	39%			22%	40%	38%										



(8月)といった事件を検証する作品が話題を集めた。

日本の公立小学校の子どもたちの生活を描き、海外で大きな注目を集めたドキュメンタリー『小学校 それは小さな社会』(12月)、児童養護施設で暮らす子どもたちの日常に密着した『大きな家』(12月)といった作品は、映画ファンに止まらない幅広い層の観客を得ている。

東日本大震災の被災地で作品を撮り続ける小森はるか監督『ラジオ下神白 あのと きあのまちの音楽から いまここへ』や土井敏邦監督の『津島 福島は語る・第二章』、沖縄を撮り続ける三上智恵監督『戦雲(いくさふむ)』、国際的に活躍する想田和弘監督『五香宮の猫』、自身の姉とその娘を撮り続ける伊勢真一監督の『大好き 奈緒ちゃんとお母さんの50年』なども公開され、多くの観客を集めている。

外国映画

外国映画は、2024年は711本が公開された。ジャンル別では、劇映画の新作が333本(29増)、アニメーション32本(7増)、ドキュメンタリー 53本(2減)、ODS43本(10減)、特集上映(旧作のデジタルリマスター版含む)は250本(53増)となり公開作品全体の35%を占めている。前述のように、2024年、外国映画で最もヒットしたのは『インサイド・ヘッド2』(53.6億円)で目立ったヒット作品はなかった。興収10億円以上の作品は10作品に留まっている。そのような中でも『シビル・ウォー アメリカ最後の日』(10月)や、ヨルゴス・ランティモスの『哀れなるものたち』(1月)と、『憐れみの3章』(9月)といった作品がシネコン+ミニシアターで大規模公開され、多くの映画ファンを集めた。大作以外のアニメーションでは、ミニシアターを中心に公開された『ロボット・ドリームス』(11月)がヒット、新潟国際アニメーション映画祭でグランプリを受賞した村上春樹の小説を映画化したフランスのアニメーション『めくらやなぎと寝る女』も、深田晃司監督による日本語

fig.12 2024年に公開された映画の分類

日本映画	2024	2023	2022	2021	2019
一般映画新作(劇映画)	344	384	358	321	380
一般映画新作(アニメーション)	63	93	85	95	94
ドキュメンタリー	89	84	77	68	71
ODS	53	23	18	20	32
旧作デジタルリマスター版	19				
特集上映(旧作デジタルリマスター版含む)	36	72			
日本映画合計①	604	656	538	504	577
上記の他、公開館数1館(短篇・若手・その他)	84	86	101	40	73
日本映画合計②	688	742	639	544	650

外国映画	2024	2023	2022	2021	2019
一般映画新作(劇映画)	333	304	307	279	330
一般映画新作(アニメーション)	32	25	18	20	16
ドキュメンタリー	53	55	62	69	55
ODS	43	53	37	16	47
旧作デジタルリマスター版(劇映画)	66	43	51	31	35
特集上映(旧作デジタルリバイバル)26企画(2023)	184	154	160	79	31
外国映画合計①	711	634	635	494	514
上記の他、1館(あるいは2、3館)のみでの上映	53	89	74	74	128
外国映画合計②	764	723	709	568	642
日本映画①+外国映画①	1315	1290	1173	998	1091

吹き替え版がつくられたことなども話題を集め、堅調な興行となった。アキ・カウリスマキ監督(『枯れ葉』2023年12月)、ビクトル・エリセ監督(『瞳を閉じて』2月)、といった巨匠たちの新作の公開も大きな話題となった。イタリアの巨匠マルコ・ヴェロッキオ監督が「アルド・モーロ誘拐事件」を映画化した大作『夜の外側 イタリアを震撼させた55日間』(8月)が話題を集め、同監督の『エドガルド・モルターラ ある少年の数奇な運命』(4月)もミニシアターを中心に上映されている。ドキュメンタリーは53本が公開された。『ジョン・レノン 失われた週末』(5月)が100館以上で公開されたのをはじめ、音楽系のドキュメンタリーが多いが、ウクライナでの戦争を撮った『マリウポリの20日間』(8月)や、悪化の一途を辿るパレスチナ・イスラエル状況をうけて『ガザ・サーフ・クラブ』(2023年12月)、『私は憎まない』(10月)、『ガザからの報告』(日本映画/10月)といった作品が公開されている。イランの名匠モフセン・マフマルバフ監督とハナ・マフマルバフ監督がアフガニスタン

とイスラエルで撮った2作品(『子どもたちはもう遊ばない』『苦悩のリスト』12月)も公開された。また、ドキュメンタリー映画の巨匠フレデリック・ワイズマン監督の『至福のレストラン 三つ星トワグロ』(8月)、ワン・ビン監督の『青春』(4月)といった重要な作品もミニシアターを中心に上映されている。外国映画が不調と言われる中でも多くの配給会社によって様々な国の作品が配給され、上映環境の多様性が保たれている。ブラッド・ピットとジョージ・クルーニーがW主演を務める『ウルフズ』(Apple製作)は9月に日本で配信前の限定公開が予定されていたが、直前に公開中止が決定、Apple TV+での配信のみとなり、クリント・イーストウッド監督の最新作『陪審員2番』も12月にU-NEXTでの配信が始まり、劇場公開の見込みは立っていない。コロナ禍の2020年以降に顕著な傾向として旧作のリバイバル公開、特集上映が非常に増えているということがある。2024年も多くの旧作のデジタルリマスター版が公開され、

30を越える特集上映が行われている。  
デジタルリマスター版のリバイバル公開では、『グラディエーター』（2000）、デヴィッド・リンチ版『デューン/砂の惑星』（1984）、『ロード・オブ・ザ・リング』3部作のスペシャル・エクステッド・エディションといった大作のデジタルリマスター版が、シリーズ最新作の公開に合わせて上映されたほか、1980～2000年代初頭にミニシアターを中心に大ヒットした『リトル・ダンサー』『ラブ・アクチュアリー』『シュリ』『レザボア・ドッグス』『ピアノ・レッスン』『バグダッド・カフェ』『テルマ&ルイーズ』『ラスト・エ

ンペラー』といった作品が次々に公開され、新旧の映画ファンを喜ばせている。『風が吹くとき』や『ウォーターシップダウンのうさぎたち』といったアニメーションも含め、旧作のデジタルリマスター版は70本近く公開された。また、特集上映も非常に多く行われている。2022年は22企画、2023年26企画、2024年は30企画を越える特集上映が生まれ、180本を越える映画が上映されている。（特集の再上映を含む）  
以下に主な特集を挙げてみる。

旧作の特集上映が盛んに行われるという現象は、日本特有のものではなく、ヨーロッパでも同様であり、コロナ後の映画館で若い観客を拡大する一助ともなっているようである。

## 2024年の主な特集上映

〈外国映画〉

午前十時の映画祭13 『リバー・ランズ・スルー・イット 4K』ほか

12ヶ月のシネマリレー 『トランボ ハリウッドに最も嫌われた男』ほか

ランボー 4Kトリロジー

クリストファー・ノーラン特集

マカロニ・ウエスタン誕生60周年 『ドル3部作 4K』

ウォン・カーウァイ ザ・ビギニング

ニナ・メンケスの世界

永遠のフィルム・マエストロ エンニオ・モリコーネ特選上映

BB生誕90年祭 ブリジット・バルドー レトロスペクティヴ

映画作家ジャンヌ・モロー

ピーター・グリーナウェイ レトロスペクティヴ 美を患った魔術師

ダリオ・アルジェント 動物三部作

張芸謀 チャン・イーモウ 艶やかなる紅の世界

シュルレアリスム100年映画祭

鬼オジョニー・トー監督 “男の絆” セレクション

ベット・ゴードン エンブティ ニューヨーク

グレッタ・ガーウィグ特集

70/80年代 フランシス・F・コッポラ 特集上映 ―終わりなき再編集―

ありがとうブルース! 不死身の男フェス

興行収入10億円を超える映画／  
10億円以下の映画

2024年、興行収入10億円を越えた映画は日本映画31本、外国映画10本の41本(2023年49本、2019年65本)であった。本数では全公開本数1190本の3.4%、興行収入では、日本映画約1050.1億円、外国映画252.6億円で合計1302.7億円となり、全興行収入の62.9%（2023年66.1%、2022年72%）を占めている。

→ fig.13, 14, 15, 16, 17

fig.13 2024年興行収入10億円以上作品〔日本映画〕

順位	公開月	作品名	興行収入 (億円)	ジャンル	配給会社
1	4月	名探偵コナン 100万ドルの五稜星(みちしるべ)	158	アニメーション	東宝
2	2月	劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦	116.4	アニメーション	東宝
3	7月	キングダム 大將軍の帰還	80.3	劇映画	東宝/SPE
4	23/12月	劇場版 SPY×FAMILY CODE: White	63.2	アニメーション	東宝
5	8月	ラストマイル	59.6	劇映画	東宝
6	1月	機動戦士ガンダムSEED FREEDOM	53.8	アニメーション	バンダイナムコフィルムワークス/松竹
7	3月	変な家	50.7	劇映画	東宝
8	23/12月	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	45.4	劇映画	松竹
9	3月	映画ドラえもん のび太の地球交響楽	43.1	アニメーション	東宝
10	8月	僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト	36	アニメーション	東宝
11	1月	ゴールデンカムイ	29.9	劇映画	東宝
12	8月	映画クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記	26.9	アニメーション	東宝
13	2月	「鬼滅の刃」絆の奇跡、そして柱稽古へ	23.1	アニメーション	東宝/アニプレックス
14	6月	ルックバック	20.4	アニメーション	エイベックス・ピクチャーズ
15	9月	Mrs. GREEN APPLE // The White Lounge in CINEMA	19	ODS	松竹 ODS 事業室
16	10月	室井慎次 敗れざる者	18.9	劇映画	東宝
17	4月	劇場版ブルーロック -EPISODE 凜-	18.1	アニメーション	バンダイナムコフィルムワークス
18	9月	スオミの話をしよう	17.7	劇映画	東宝
19	11月	室井慎次 生き続ける者	17	劇映画	東宝
20	5月	帰ってきた あぶない刑事	16.4	劇映画	東映
21	6月	ディア・ファミリー	14.7	劇映画	東宝
22	11月	劇場版「進撃の巨人」完結編 THE LAST ATTACK	14.5	アニメーション	ポニーキャニオン
23	5月	劇場版『ウマ娘 プリティーダービー 新時代の扉』	14.1	アニメーション	東宝
24	23/12月	PERFECT DAYS	13.3	劇映画	ビターズ・エンド
25	9月	わんだふるぷりきゅあ!ざ・むービー! ドキドキ・ゲームの世界で大冒険!	12.4	アニメーション	東映
26	7月	もしも徳川家康が総理大臣になったら	12	劇映画	東宝
27	3月	四月になれば彼女は	11.9	劇映画	東宝
28	7月	あのコはだあれ?	11.6	劇映画	松竹
29	4月	陰陽師0	11	劇映画	WB
30	6月	九十歳。何がめでたい	10.4	劇映画	松竹
31	9月	劇場版「オーバーロード」聖王国編	10.3	アニメーション	KADOKAWA
合計			1050.1		

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

fig.14 2024年興行収入10億円以上作品〔外国映画〕

順位	公開月	作品名	興行収入 (億円)	ジャンル	配給会社
1	8月	インサイド・ヘッド2	53.6	アニメーション	WDS
2	7月	怪盗グルーのミニオン超変身	45.3	アニメーション	東宝東和
3	23/12月	ウィッシュ	36.1	アニメーション	WDS
4	23/12月	ウォンカとチョコレート工場のはじまり	23.7	劇映画	WB
5	7月	デッドプール&ウルヴァリン	21.1	劇映画	WDS
6	3月	オッペンハイマー	18.7	劇映画	ビターズ・エンド
7	4月	ゴジラxコング 新たなる帝国	17.4	劇映画	東宝
8	11月	ヴェノム：ザ・ラストダンス	15.1	劇映画	SPE
9	10月	ジョーカー：フォリ・ア・ドゥ	11.6	劇映画	WB
10	5月	マッドマックス：フュリオサ	10	劇映画	WB
合計			252.6		

—「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

fig.15 2024年興行収入上位20作品

順位	公開月	作品名	興行収入 (億円)	ジャンル	日本映画 / 外国映画	配給会社
1	4月	名探偵コナン 100万ドルの五稜星(みちしるべ)	158	アニメーション	日本映画	東宝
2	2月	劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦	116.4	アニメーション	日本映画	東宝
3	7月	キングダム 大將軍の帰還	80.3	劇映画	日本映画	東宝/SPE
4	23/12月	劇場版 SPY×FAMILY CODE：White	63.2	アニメーション	日本映画	東宝
5	8月	ラストマイル	59.6	劇映画	日本映画	東宝
6	1月	機動戦士ガンダムSEED FREEDOM	53.8	アニメーション	日本映画	バンダイナムコフィルムワークス / 松竹
7	8月	インサイド・ヘッド2	53.6	アニメーション	外国映画	WDS
8	3月	変な家	50.7	劇映画	日本映画	東宝
9	23/12月	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	45.4	劇映画	日本映画	松竹
10	7月	怪盗グルーのミニオン超変身	45.3	アニメーション	外国映画	東宝東和
11	3月	映画ドラえもん のび太の地球交響楽	43.1	アニメーション	日本映画	東宝
12	23/12月	ウィッシュ	36.1	アニメーション	外国映画	WDS
13	8月	僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト	36	アニメーション	日本映画	東宝
14	1月	ゴールデンカムイ	29.9	劇映画	日本映画	東宝
15	8月	映画クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記	26.9	アニメーション	日本映画	東宝
16	23/12月	ウォンカとチョコレート工場のはじまり	23.7	劇映画	外国映画	WB
17	2月	「鬼滅の刃」絆の奇跡、そして柱稽古へ	23.1	アニメーション	日本映画	東宝 / アニプレックス
18	7月	デッドプール&ウルヴァリン	21.1	劇映画	外国映画	WDS
19	6月	ルックバック	20.4	アニメーション	日本映画	エイベックス・ピクチャーズ
20	9月	Mrs. GREEN APPLE//The White Lounge in CINEMA	19	ODS	日本映画	松竹 ODS 事業室
合計			1005.6			
2024年興行収入			2069.8			2023…2214.8   2022…2131.1
2024年興行収入10億円以上作品			1302.7			2023…1463.3   2022…1531.7
興行収入10億円以上作品の割合			62.9%			

fig.16 興行収入10億円以上の作品 / 興行収入10億円未満(2024)

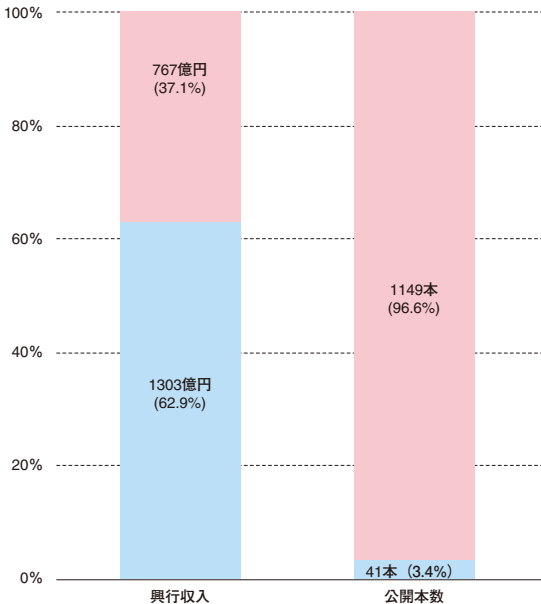


fig.17 興行収入10億円以上の映画 / 興行収入10億円未満の映画(2015-2024)

興行収入(億円)					
	全体	10億円以上		10億円未満	
		興収	割合	興収	割合
2015	2,171	1,595	73.5%	576	26.5%
2016	2,355	1,763	74.9%	592	25.1%
2017	2,286	1,618	70.8%	667	29.2%
2018	2,225	1,563	70.2%	662	29.8%
2019	2,611	2,009	76.9%	602	23.1%
2020	1,433	912	63.7%	521	36.3%
2021	1,619	1,006	62.2%	613	37.8%
2022	2,131	1,532	71.9%	599	28.1%
2023	2,215	1,463	66.1%	752	33.9%
2024	2,070	1,303	62.9%	767	37.1%

公開本数					
	全体	10億円以上		10億円未満	
		本数	割合	本数	割合
2015	1136	61	5.4%	1075	94.6%
2016	1149	61	5.3%	1088	94.7%
2017	1187	62	5.2%	1125	94.8%
2018	1192	54	4.5%	1138	95.5%
2019	1278	65	5.1%	1213	94.9%
2020	1017	25	2.5%	992	97.5%
2021	959	37	3.9%	922	96.1%
2022	1143	41	3.6%	1102	96.4%
2023	1232	49	4.0%	1183	96.0%
2024	1190	41	3.4%	1149	96.6%

— fig. 16, 17とも「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟) 参照

## 諸外国との比較〔2023〕

※各国のデータについては、以下を参照した。

“Focus 2024 – World film market trends”

『映画年鑑2024』『統計編 世界主要各国映画諸統計』  
(キネマ旬報社刊)

### フランス

フランス国立映画センター Centre National du Cinema et de  
l'Image Animée (CNC)

“Bilan du CNC”

[https://www.cnc.fr/creation-numerique/etudes-et-rapports/  
bilans](https://www.cnc.fr/creation-numerique/etudes-et-rapports/bilans)

### イギリス

英国映画協会

British Film Institute (BFI) “Statistical Yearbook”

[http://www.bfi.org.uk/education-research/film-industry-  
statistics-research/statistical-yearbook](http://www.bfi.org.uk/education-research/film-industry-statistics-research/statistical-yearbook)

### ドイツ

ドイツ映画振興協会

Filmförderungsanstalt (FFA) “FFA Info”

<http://www.ffa.de/marktdaten.html>

### オーストラリア

スクリーン・オーストラリア

Screen Australia “Fact Finders”

<https://www.screenaustralia.gov.au/fact-finders/>

### 韓国

韓国映画振興委員会 영화진흥위원회 (KOFIC)

「韓国映画産業決算」

[http://www.kofic.or.kr/kofic/business/rsch/findPolicyList.  
do](http://www.kofic.or.kr/kofic/business/rsch/findPolicyList.do)

に、韓国では約1.5倍、中国では3倍以上に増えている。コロナ禍以後、すべての国において、様々な形で映画館を守るための支援策がこじられたことなどにより、コロナ禍による閉館は小規模なものにとどまったと考えられる。

2023年のスクリーン数は、中国が8万6310スクリーンと群を抜いている。また、アメリカ・カナダが4万1077スクリーンと他の国に比べて圧倒的に多く、次いでフランスが6320、ドイツ4901、イギリス4749スクリーンと続く。

人口をスクリーン数で割った「1スクリーン当たりの人口」は、その数値が低いほどスクリーンが多い、身近にスクリーンが存在しているとみることができる。この数値をみると、日本は33,778人に1スクリーンと、他の国に比べてスクリーンが極端に少ない。アメリカ・カナダは9,319人に1スクリーン、フランスは10,512人に1スクリーンで、日本以外の7ヶ国はいずれも1スクリーン当たりの人口が1万人台におさまっており、日本のスクリーン数は、アメリカ・カナダの4分の1、フランスやオーストラリアの3分の1、韓国、ドイツ、イギリス、中国の2分の1程度しかない状態が続いている。

→ [fig.20](#), [21](#), [22](#)

## 興行収入・入場料金

コロナ禍の2020年、2021年と興行収入第1位となった中国は、2022年に失速したが、2023年には前年を40%近く上回る回復ぶりを見せ、アメリカ・カナダに迫りつつある。日本は、アメリカ・カナダ、中国について第3位の位置を保持し続けている。フランス、ドイツ、イギリスというヨーロッパの三ヶ国が順調な回復ぶりをみせている。

いずれの国においても平均入場料金が2020年以降、かなり上がっている。物価の上昇が入場料金にも反映していると見ることができるが、コロナ禍で、それまで観客層の中心であった高齢者層の観客が減少し、シニア割引の割合が減っていることもその一因となっているかもしれない。日本の入場料金は平均1,424円で、前年と比較すると20円以上上昇してい

2025年1月末現在、まだ、諸外国の2024年のデータはインターネット上に公開されていないため、以下では、2023年の日本と諸外国のデータを比較している。

## 観客数

2020～2022年、世界中の映画産業がコロナ禍で大きな打撃を受けた。2023年には各国ともコロナ前の状況に戻りつつあるが、その度合いにはかなり差があるようだ。2023年、日本の観客数は1億5553万5000人となり、10年前(2014年)の97%、ほぼコロナ前の水準にまで回復している。日本以外ではフランスが2014年比86%、イギリス78%、オーストラリア74%と、70%以上まで回復しているが、アメリカ・カナダは65%、韓国は58%に留まっている。そのような中、やや異常な変化を見せているのが中国である。中国の観客数は、2021年に急速な回復を見せた後、2022年にコロナ禍と同じ水準にまで落ち込み、2023年には一

気に2015年の水準まで回復している。

観客数を人口で割った国民1人当たりの年間鑑賞本数は、韓国が2.4本(←4.2)、アメリカ・カナダ2.2本(←3.6)、フランス2.7本(←3.3)、オーストラリア2.2本(←3.4)、イギリスは1.8本(←2.4)となっている。日本人の年間鑑賞本数は2020年以降、着実に回復し、2021年0.9本、2022年1.2本、2023年1.3本となったが、他国に比べると元々鑑賞本数が少なく、ドイツ、中国と最下位を争っている。

→ [fig.18](#), [19](#)

## 映画館数・スクリーン数

シネマコンプレックスの増加を背景にいずれの国も、2019年までスクリーン数は増加を続けていたが、2020年は減少に転じ(フランスと日本のみ微増)、コロナ禍の影響が懸念されたが、2021年以降は多くの国が微増となり、2023年も極端な変化はみられない。10年前と比較するとすべての国で増加しており、特



fig.18 諸外国との比較「観客数」(2014-2023)

単位：千人

	アメリカ・カナダ*	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
人口(2023)	382,776	66,439	84,548	68,683	51,749	1,422,585	26,451	124,371
2014	1,270,000	209,100	121,700	157,500	215,060	830,000	78,600	161,116
2015	1,320,000	205,400	139,200	171,900	217,290	1,260,000	90,300	166,630
2016	1,320,000	213,200	121,100	168,300	217,020	1,370,000	91,300	180,189
2017	1,240,000	209,400	122,300	170,600	219,870	1,620,000	85,000	174,483
2018	1,300,000	201,200	105,400	177,000	216,390	1,720,000	89,800	169,210
2019	1,240,000	213,200	118,600	176,100	226,680	1,730,000	84,700	194,910
2020	240,000	65,300	38,100	44,000	59,520	548,000	28,200	106,137
2021	470,000	95,500	42,100	74,000	60,528	1,170,000	39,700	114,818
2022	715,100	152,000	78,000	117,300	112,805	712,000	57,900	152,005
2023	831,300	180,400	95,700	123,600	125,140	1,299,000	58,100	155,535
2014→2023の変化	65%	86%	79%	78%	58%	157%	74%	97%
2019→2023の変化	67%	85%	81%	70%	55%	75%	69%	80%

fig.19 諸外国との比較「年間鑑賞本数」(2014-2023)

	アメリカ・カナダ*	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
2014	3.6	3.3	1.5	2.4	4.2	0.6	3.4	1.3
2015	3.7	3.2	1.7	2.6	4.3	0.9	3.8	1.3
2016	3.7	3.3	1.5	2.6	4.2	1.0	3.7	1.4
2017	3.4	3.2	1.5	2.6	4.3	1.1	3.4	1.4
2018	3.6	3.1	1.3	2.7	4.2	1.2	3.6	1.3
2019	3.4	3.3	1.4	2.6	4.4	1.2	3.3	1.5
2020	0.6	1.0	0.5	0.7	1.1	0.4	1.1	0.8
2021	1.3	1.5	0.5	1.1	1.2	0.8	1.6	0.9
2022	1.9	2.3	0.9	1.9	2.2	0.5	2.2	1.2
2023	2.2	2.7	1.1	1.8	2.4	0.9	2.2	1.3

—\*アメリカ映画協会(Motion Picture Association of America, MPAA)は、観客数について、アメリカとカナダをあわせた数値を公表している。

fig.20 諸外国との比較「スクリーン数」(2014-2023)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス*	韓国	中国	オーストラリア	日本
2014	39,956	5,647	4,637	—	2,281	24,607	2,041	3,364
2015	40,006	5,741	4,692	—	2,424	31,627	2,080	3,437
2016	40,174	5,842	4,739	4,327	2,575	41,179	2,121	3,476
2017	40,393	5,913	4,803	4,512	2,766	50,776	2,210	3,530
2018	40,837	5,983	4,849	4,640	2,937	60,079	2,278	3,591
2019	41,172	6,114	4,961	4,782	3,079	69,787	2,310	3,627
2020	40,998	6,127	4,926	4,682	3,015	75,581	2,229	3,669
2021	40,578	6,193	4,931	4,610	3,254	82,248	2,290	3,687
2022	42,063	6,298	4,911	4,720	3,322	83,998	2,189	3,672
2023	41,077	6,320	4,901	4,749	3,371	86,310	2,272	3,682
2014→2023の変化	102.8%	111.9%	105.7%	—	147.8%	350.8%	111.3%	109.5%
2019→2023の変化	99.8%	103.4%	98.8%	99.3%	109.5%	123.7%	98.4%	101.5%

—\*イギリスは、2020年よりスクリーン数及び映画館数の算出方法を変更、新しい算出方法では2016年以降の数値のみ公表している。

fig.21 諸外国との比較「映画館数」(2019-2023)

	フランス	ドイツ	韓国	オーストラリア	日本
2019	2,045	1,734	513	524	593
2020	2,041	1,728	474	472	595
2021	2,028	1,723	542	501	596
2022	2,061	1,730	561	406	590
2023	2,054	1,744	573	460	592
2019→2023の変化	100.4%	100.6%	111.7%	87.8%	99.8%

る。

諸外国の興行収入、入場料金は、日本の興行収入のUSドルで発表された数値と円で発表された数値からレートを出し、円で表示している。(2023年当時1\$=約140円)この数年、円安が急速に進んでおり、現在では日本と欧米の映画館の入場料金はさほど変わりがない。アメリカ・カナダやドイツ、オーストラリアは日本よりも高い。他国に比較して「高い」と言われ続けてきた日本の入場料金は他国より安いものとなりつつある。

2023年、欧米各国の興行収入の上位を占めているのは『バービー』、『ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー』『アバター：ウェイ・オブ・

ウォーター』『オープンハイマー』といった日本でも大ヒットしたハリウッド映画の大作、話題作である。このような作品が非常に限られていた2024年の数値がどのようなものになるのかが懸念される。

→ [fig.24](#)

### 1スクリーン当たりの観客数・興行収入

1年間の観客数をスクリーン数で割った1スクリーン当たりの観客数をみると、いずれの国も10年前と比較するとかなり低くなっている。日本は、2020年には28,928人と前年2019年の54%まで下がったが2023年には42,242人

にまで回復、2014年の47,894人にかなり近い数値となっている。

2023年の1スクリーン当たりの1年間の興行収入をみると、日本は約6,015万円とトップの数値を示している。他の国に比較してスクリーン数が少なく、入場料金が低いことが1スクリーン当たりの観客数や興行収入の高さの背景にある。2023年、欧米の映画館の1スクリーン当たりの興収は、アメリカ・カナダが2,945万円、フランスは3,194万円、ドイツは2,889万円と日本の約半分となっている。

→ [fig.23, 24](#)

fig.22 諸外国との比較[1スクリーン当たりの人口](2023)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
人口(千人)	382,776	66,439	84,548	68,683	51,749	1,422,585	26,451	124,371
スクリーン数	41,077	6,320	4,901	4,749	3,371	86,310	2,272	3,682
人口/スクリーン	9,319	10,512	17,251	14,463	15,351	16,482	11,642	33,778

fig.23 諸外国との比較 [1スクリーン当たりの観客数](2014-2023)

	アメリカ・カナダ	フランス	ドイツ	イギリス	韓国	中国	オーストラリア	日本
2014	31,785	37,029	26,245	—	94,283	33,730	38,511	47,894
2015	32,995	35,778	29,668	—	89,641	39,839	43,413	48,481
2016	32,857	36,494	25,554	38,895	84,280	33,269	43,046	51,838
2017	30,698	35,413	25,463	37,810	79,490	31,905	38,462	49,429
2018	31,834	33,629	21,736	38,147	73,677	28,629	39,421	47,121
2019	30,118	34,871	23,906	36,826	73,621	24,790	36,667	53,739
2020	5,854	10,658	7,734	9,398	19,741	7,250	12,651	28,928
2021	11,583	15,421	8,538	16,052	18,601	14,225	17,336	31,141
2022	17,001	24,135	15,883	24,852	33,957	8,476	26,450	41,396
2023	20,238	28,544	19,527	26,027	37,123	15,050	25,572	42,242

fig.24 諸外国との比較[入場料金・興行収入](2023)

	平均入場料金(円)		興行収入(百万円)		観客数(百万人)		スクリーン数		1スクリーン当たり興行収入(万円)	
	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023
アメリカ・カナダ	1,376	1,455	986,430	1,209,740	715.1	831.3	39,007	41,077	2,529	2,945
中国	825	836	585,570	1,086,383	712.0	1,299.0	82,248	86,310	712	1,259
イギリス	1,245	1,384	146,432	171,018	117.3	123.6	4,720	4,749	3,102	3,601
フランス	1,022	1,119	150,650	201,857	152.0	180.4	6,298	6,320	2,392	3,194
インド	197	231	176,850	207,464	892.0	900.0	9,423	9,742	1,877	2,130
韓国	1,048	1,082	117,926	135,426	112.8	125.1	3,322	3,371	3,550	4,017
ドイツ	1,321	1,479	99,599	141,580	78.0	95.7	4,911	4,901	2,028	2,889
オーストラリア	1,585	1,579	92,106	91,747	57.9	58.1	2,278	2,272	4,043	4,038
日本	1,402	1,424	213,111	221,482	152.0	155.5	3,634	3,682	5,864	6,015

観客数及びスクリーン数：世界主要各国映画諸統計（「映画年鑑2024」）、「Focus 2024」参照

興行収入：興行収入：「世界主要各国映画諸統計」および「Focus 2024」において、興行収入は米ドルで記載されている。

2023年の日本の興行収入2214.82億円(=15800万USD)から米ドルとの為替レートを計算、そのレート(1USD=約140円)で各国の興行収入(円)を計算している。

平均入場料金：興行収入を観客数で割った数値

1スクリーン当たり興行収入：平均入場料金：興行収入を観客数で割った数値

## シネマコンプレックスの割合

フランス、韓国とも、映画館数やスクリーン数に大きな変化はみられなかった。

シネコンの割合が高いのは韓国で、全3371スクリーン中3151スクリーン、93.5%をシネコンが占めている。日本のシネコンのシェアも3682スクリーン中3257スクリーン、88.5%と高い数値を示している。フランスは、シネコンの比率は44.8%にとどまっており、映画館数では、シネコン249館に対し、シネコン以外の映画館が1805館と、シネコンを大きく上回っている。(フランスはシネコンの定義を「8スクリーン以上」としており、他国が「5〜7スクリーン以上」としていることと異なる)また、約1300館が多様な映画を上映する「アー・エ・エセイ映画館」(アートハウス、日本のミニシアターに近い)に認定されており、国や自治体から助成金を得ている。フランスの映画館数は2054館と日本の592館の3倍以上であり、人口1〜2万人の中小の市町村の73%に映画館がある。身近な場所で多様な映画を見ることができる環境が保持されている。

→ fig.25, 26

fig.25  
諸外国との比較[シネマコンプレックスの割合 スクリーン数](2019-2023)

		2019	2020	2021	2022	2023
フランス	スクリーン数	6,114	6,127	6,193	6,298	6,320
	うちシネコン	2,666	2,677	2,752	2,812	2,830
	割合	43.6%	43.7%	44.4%	44.6%	44.8%
韓国	スクリーン数	3,079	3,015	3,254	3,322	3,371
	うちシネコン	2,885	2,908	3,060	3,120	3,151
	割合	93.7%	96.5%	94.0%	93.9%	93.5%
日本	スクリーン数	3,627	3,672	3,688	3,672	3,682
	うちシネコン	3,197	3,238	3,249	3,244	3,257
	割合	88.1%	88.2%	88.1%	88.3%	88.5%

fig.26  
諸外国との比較[シネマコンプレックスの割合 映画館数](2022, 2023)

	2022			2023		
	シネコン	シネコン以外	合計	シネコン	シネコン以外	合計
フランス	247	1,814	2,061	249	1,805	2,054
韓国	452	109	561	459	114	573
日本	359	231	590	360	232	592

—  
シネマコンプレックスの定義…  
フランス 8スクリーン以上の劇場  
日本 5スクリーン以上の映画上映専門施設  
韓国 CJ CGV、ロッテシネマ、メガボックス、シネQのチェーンによる映画館に加え、7スクリーン以上を持つ映画館

公開本数

コロナ禍で欧米各国の公開本数は激減したが、2023年には各国ともコロナ前の2018年とほぼ変わらない数の作品を公開している。1本当たりの観客数は10年前と比較すると低い数値に留まっている。特に、公開本数が1410本と非常に多い韓国では1本当たりの観客数が88,752人と厳しい数値を示している。

日本では、2019年、自国映画/外国映画の割合は、公開本数、興行収入とも5.4:4.6と、他国に比べて非常にバランスの取れた状態となっていた。しかし、興行収入のバランスは大きく崩れ、2020年は日本映画76%、外国映画24%となり、2023年においても日本67%、33%とその差が広がり続けている。

→ fig.27

映画館に対する恒常的な支援制度

日本以外のいずれの国にも、映画産業と映画文化を統括し振興する組織(フランスのCNC、イギリスのBFI、ドイツのFFA、韓国のKOFICなど)があり、製作・配給・興行(上映)・教育・保存、放映や配信にいたるまで、映画に関わるあらゆることに関与している。上映活動についても、シネコンのような商業的な大規模映画館での上映から、多様な映画を上映するミニシアターやシネマテーク、自主上映まで、様々なレベル、種類の上映活動を支援する制度が確立している。

公的な支援、振興策には、単に金銭的な支援という以上の意味がある。公的な支援を受ける映画館には、公共的な文化施設として、地域コミュニティや文化団体との連携を重視したプログラム作りや若年層の観客開拓、映

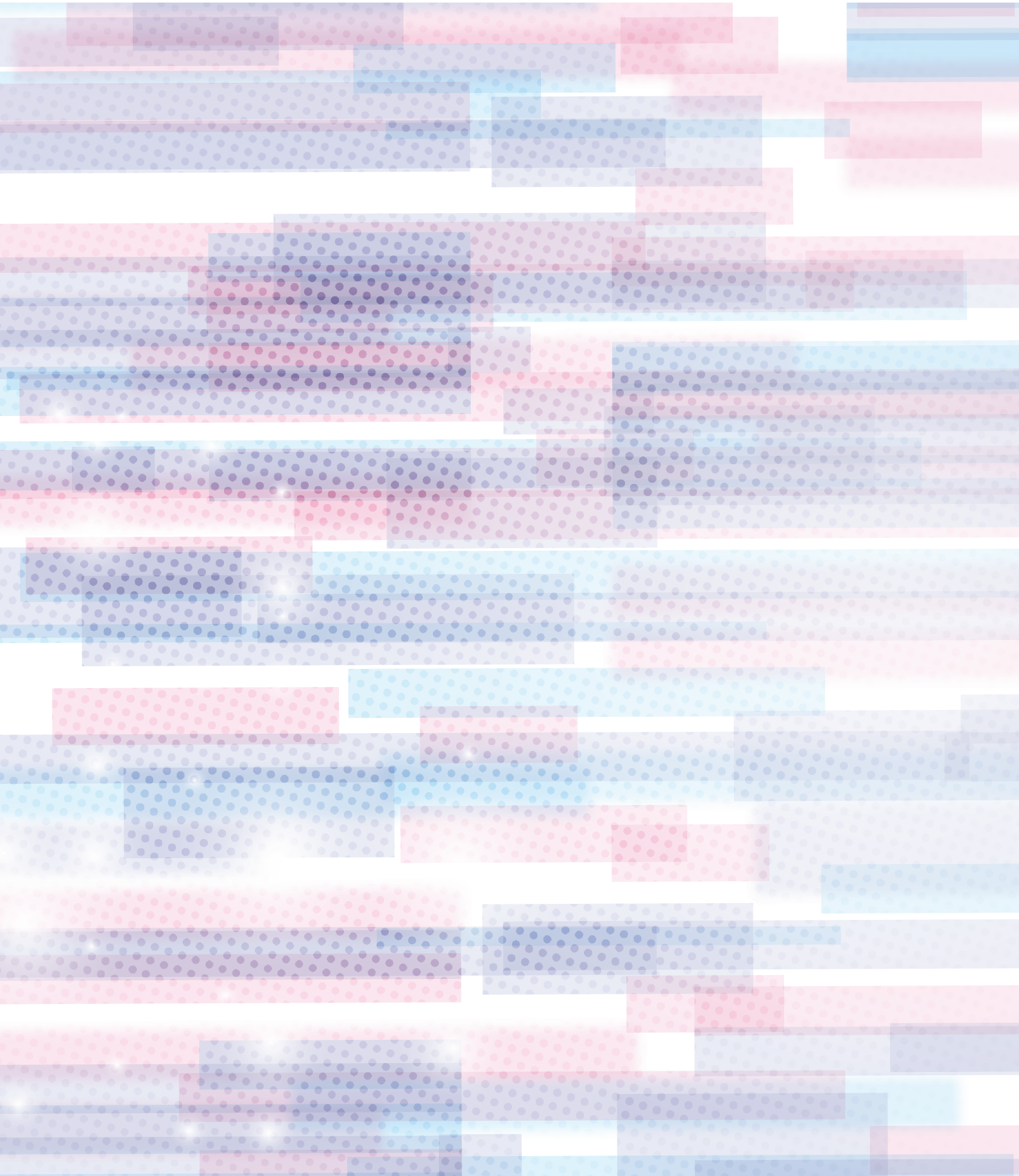
画教育プログラムなど多様な活動を行うこと、そのような活動を行うスタッフを育成することも求められる。そのことにより、地域における文化的な存在感、持続可能性も高くなる。

ほとんど公的な支援を受けずに、140館をこえるミニシアターが、大都市のみならず中小都市にも存在し、運営されている日本の状況は、諸外国から見ると「miracle (奇跡)」なのである。しかし、奇跡は永遠に続くものではない。この20年間で映画館は200館以上も減っており、映画館のない市町村、映画館空白地域が広がり続けている。関係者の献身と犠牲によって成立してきた小規模な映画館の運営は限界に近づいていると言わざるを得ない。映画振興策の見直し、映画館支援、上映者の実態に対応した助成プログラムの実現が待望されている。

fig.27 諸外国との比較「公開本数」(2014-2023)

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	自国映画		外国映画
フランス	公開本数		663	652	716	693	683	746	365	455	681	716	406	310
													57%	43%
	観客数(千人)		209,100	205,400	213,200	209,400	201,200	213,200	65,300	95,500	152,000	180,400	40%	60%
	1本あたり入場者数		315,385	315,031	297,765	302,165	294,583	285,791	178,904	209,890	223,201	251,955		
ドイツ	公開本数		570	596	610	587	576	606	339	429	554	598	223	375
													37%	63%
	観客数(千人)		121,700	139,200	121,100	122,300	105,400	118,600	38,100	42,100	78,000	95,700	24%	76%
	1本あたり入場者数		213,509	233,557	198,525	208,348	182,986	195,710	112,389	98,135	140,794	160,033		
イギリス	公開本数		712	759	821	760	787	754	381	498	703	824	365	459
													44%	56%
	観客数(千人)		157,500	171,900	168,300	170,600	177,000	176,100	44,000	74,000	117,300	123,600	41%*	59%*
	1本あたり入場者数		221,208	226,482	204,994	224,474	224,905	233,554	115,486	148,594	166,856	150,000		
韓国	公開本数		1,095	1,176	1,520	1,621	1,646	1,740	1,693	1,637	1,643	1,410	608	802
													43%	57%
	観客数(千人)		215,060	217,290	217,020	219,870	216,390	226,680	59,520	60,530	112,805	125,140	49%	51%
	1本あたり入場者数		196,402	184,770	142,776	135,638	131,464	130,276	35,157	36,976	68,658	88,752		
オーストラリア	公開本数		508	540	611	697	758	754	401	457	715	743	86	657
													12%	88%
	観客数(千人)		78,600	90,300	91,300	85,000	89,800	84,700	28,200	39,700	57,900	58,100	2%*	98%*
	1本あたり入場者数		154,724	167,222	149,427	121,951	118,470	112,334	70,324	86,871	80,979	78,197		
日本	公開本数		1,184	1,136	1,149	1,187	1,192	1,278	1,017	959	1,143	1,232	676	556
													55%	45%
	観客数(千人)		161,116	166,630	180,189	174,483	169,210	194,910	106,137	114,818	152,005	155,535	67%*	33%*
	1本あたり入場者数		136,078	146,681	156,822	146,995	141,955	152,512	104,363	119,727	132,988	126,246		

\*観客数のシェアではなく興行収入のシェア





都道府県別概況

都道府県別概況

「日本映画産業統計」(日本映画製作者連盟)には観客数の都道府県別の内訳は示されていないが、「特定サービス産業実態調査報告書 映画館編」(2018年終了)及び「経済センサス 活動調査」の「サービス関連産業に関する集計」には、都道府県別観客数が記載されている。

本年鑑では、2015～2021年の「特定サービス産業実態調査報告書」及び「経済センサス 活動調査」における各都道府県の観客数が全都道府県の観客総数に占める割合の平均値を計算し、これを2024年の「日本映画産業統計」における入場人員(1億4444万1000人)に乗じることで各都道府県の観客数の概算値を算出した。

**1人当たり年間鑑賞回数**は、都道府県民1人が1年間に映画館で映画を見る回数を示したものである。2024年の観客数は1億4444万1000人で、2023年と比較すると7.1%減少しており、コロナ前の2019年の1億9491万人を下回る状態が継続しているが、10年前(2015)の1億6663万人という数値にはかなり近い水準にある。1人当たりの年間鑑賞本数の全国平均は1.2回で、2023年より0.1回減少した。

全国平均(1.2)を上回っているのは、東京(1.9)、山形(1.8)、京都(1.5)、大阪(1.4)、神奈川(1.4)、福岡(1.3)、千葉(1.3)の7都府県である。

**スクリーン数**は、当然ながら、人口の多い大都市を擁する都道府県が上位を占めている。全体としては2023年から2024年にかけてスクリーン数は27スクリーン増加、2022から2023年にかけての10スクリーンの増加を大きく上回っている。

**1スクリーン当たり人口**は、全国平均33,395人となり、前年からほとんど変化していない。この数値が少ないほど、スクリーンが多いとみることができ、少ない地域ほど住民にとって映画館が身近に存在していると考えられる。この数値が1万人台の「映画館が多い」県は石川(17,718)、山形(18,718)で、山形県は年間鑑賞回数も全国平均を大きく上回っている。それに続き、過去5年でスクリーン数が増加傾向にある大分(24,664)、熊本(24,943)、福岡(26,277)の九州3県が上位を占めている。

スクリーン当たり人口が5万人を超える「映画館が少ない」県は、山梨(65,851)、高知(59,609)、岩手(54,496)、岡山(53,842)、福島(52,824)、長崎(50,028)の合計6県である。これらの県では年間鑑賞回数も平均以下の低い数値に止まっている。しかし、63～69ページの「映画館以外で行われる上映が活動一覧」を見ると、映画館がない地域では、公共ホールでの移動興行や自主上映、新たに生まれた上映の場で盛んに行われていることが多く、興行の数値には現れない上映活動も多く存在している。映画館の館数のみで上映環境の豊かさを測ることはできないことも念頭におく必要がある。

→ [fig.28](#)

fig.28  
都道府県別概況(2024)

	人口		映画館数	スクリーン数		年間観客数(概算)		1スクリーン 当たり人口	1スクリーン 当たり観客数	一人当たり 年間映画 鑑賞回数	
	全国合計	123,861,731	594	3709		144,441,000	※1	33,395	38,943	1.2	
1	北海道	5,054,468	4.1%	21	114	3.1%	3,670,000	2.5%	44,337	32,193	0.7
2	青森	1,164,752	0.9%	7	35	0.9%	780,000	0.5%	33,279	22,286	0.7
3	岩手	1,144,407	0.9%	6	21	0.6%	480,000	0.3%	54,496	22,857	0.4
4	宮城	2,247,139	1.8%	10	77	2.1%	2,390,000	1.7%	29,184	31,039	1.1
5	秋田	896,225	0.7%	5	18	0.5%	590,000	0.4%	49,790	32,778	0.7
6	山形	1,010,776	0.8%	8	54	1.5%	1,850,000	1.3%	18,718	34,259	1.8
7	福島	1,743,199	1.4%	6	33	0.9%	930,000	0.6%	52,824	28,182	0.5
8	茨城	2,810,049	2.3%	15	91	2.5%	2,770,000	1.9%	30,880	30,440	1.0
9	栃木	1,882,342	1.5%	9	64	1.7%	2,010,000	1.4%	29,412	31,406	1.1
10	群馬	1,889,425	1.5%	8	52	1.4%	1,980,000	1.4%	36,335	38,077	1.0
11	埼玉	7,329,258	5.9%	28	238	6.4%	9,010,000	6.2%	30,795	37,857	1.2
12	千葉	6,275,423	5.1%	25	220	5.9%	8,140,000	5.6%	28,525	37,000	1.3
13	東京	14,192,184	11.5%	83	415	11.2%	26,710,000	18.5%	34,198	64,361	1.9
14	神奈川	9,223,695	7.4%	36	246	6.6%	12,530,000	8.7%	37,495	50,935	1.4
15	新潟	2,098,804	1.7%	10	64	1.7%	2,220,000	1.5%	32,794	34,688	1.1
16	富山	995,955	0.8%	6	33	0.9%	1,040,000	0.7%	30,180	31,515	1.0
17	石川	1,098,531	0.9%	8	62	1.7%	1,210,000	0.8%	17,718	19,516	1.1
18	福井	738,691	0.6%	5	27	0.7%	590,000	0.4%	27,359	21,852	0.8
19	山梨	790,215	0.6%	3	12	0.3%	500,000	0.3%	65,851	41,667	0.6
20	長野	1,989,104	1.6%	15	64	1.7%	1,390,000	1.0%	31,080	21,719	0.7
21	岐阜	1,913,076	1.5%	8	55	1.5%	1,720,000	1.2%	34,783	31,273	0.9
22	静岡	3,524,160	2.8%	16	106	2.9%	3,820,000	2.6%	33,247	36,038	1.1
23	愛知	7,465,250	6.0%	34	266	7.2%	9,130,000	6.3%	28,065	34,323	1.2
24	三重	1,711,370	1.4%	10	63	1.7%	1,840,000	1.3%	27,165	29,206	1.1
25	滋賀	1,400,812	1.1%	5	33	0.9%	1,230,000	0.9%	42,449	37,273	0.9
26	京都	2,521,262	2.0%	14	82	2.2%	3,680,000	2.5%	30,747	44,878	1.5
27	大阪	8,770,315	7.1%	33	241	6.5%	11,990,000	8.3%	36,391	49,751	1.4
28	兵庫	5,336,665	4.3%	24	120	3.2%	4,230,000	2.9%	44,472	35,250	0.8
29	奈良	1,285,094	1.0%	3	27	0.7%	1,330,000	0.9%	47,596	49,259	1.0
30	和歌山	879,617	0.7%	6	31	0.8%	830,000	0.6%	28,375	26,774	0.9
31	鳥取	531,085	0.4%	4	12	0.3%	490,000	0.3%	44,257	40,833	0.9
32	島根	641,396	0.5%	3	16	0.4%	490,000	0.3%	40,087	30,625	0.8
33	岡山	1,830,621	1.5%	5	34	0.9%	1,700,000	1.2%	53,842	50,000	0.9
34	広島	2,716,733	2.2%	15	79	2.1%	3,160,000	2.2%	34,389	40,000	1.2
35	山口	1,279,601	1.0%	6	32	0.9%	1,020,000	0.7%	39,988	31,875	0.8
36	徳島	685,357	0.6%	3	19	0.5%	350,000	0.2%	36,071	18,421	0.5
37	香川	917,058	0.7%	5	26	0.7%	940,000	0.7%	35,271	36,154	1.0
38	愛媛	1,275,349	1.0%	7	46	1.2%	1,150,000	0.8%	27,725	25,000	0.9
39	高知	655,698	0.5%	3	11	0.3%	370,000	0.3%	59,609	33,636	0.6
40	福岡	5,097,710	4.1%	26	194	5.2%	6,680,000	4.6%	26,277	34,433	1.3
41	佐賀	787,675	0.6%	4	21	0.6%	660,000	0.5%	37,508	31,429	0.8
42	長崎	1,250,705	1.0%	4	25	0.7%	980,000	0.7%	50,028	39,200	0.8
43	熊本	1,696,144	1.4%	10	68	1.8%	1,330,000	0.9%	24,943	19,559	0.8
44	大分	1,085,198	0.9%	10	44	1.2%	1,120,000	0.8%	24,664	25,455	1.0
45	宮崎	1,030,361	0.8%	5	26	0.7%	680,000	0.5%	39,629	26,154	0.7
46	鹿児島	1,531,712	1.2%	7	39	1.1%	1,220,000	0.8%	39,275	31,282	0.8
47	沖縄	1,467,065	1.2%	10	53	1.4%	1,540,000	1.1%	27,680	29,057	1.0

人口：各都道府県発表「人口推計」（2024年10月1日現在）参照  
映画館数・スクリーン数：『映画年鑑2024』別冊「映画館名簿」（キネマ旬報社刊）及びコミュニティシネマセンター調査より作成  
年間観客数：「日本映画産業統計」（日本映画製作者連盟）では都道府県別の観客数を公開していないため、全国の観客数に都道府県ごとの観客数平均シェア率※1を乗じて算出  
※1  
2015～2021年の「特定サービス産業実態調査報告書」及び「経済センサス 活動調査」における各都道府県の観客数が全都道府県の観客総数に占める割合の平均値を計算し、これを2024年の「日本映画産業統計」における入場人員（1億4444万1000人）に乗じること各都道府県の観客数の概算値を算出した。

## 都道府県別〔スクリーン数〕

2015年から2024年の10年間で、全国のスクリーン数は3467から3709となり、242スクリーン増加している。2011年3月の東日本大震災、同時期に行われた映画館のデジタル化(フィルムからDCPへの移行)の影響から、2011年から2012年にかけて約150スクリーンが減少し、映画館数は、2011年から2013年にかけて789館から609館と、2年間で全体の約25%にあたる180館減少している。コロナ禍にあった2020年から2023年においては、3669スクリーンから3682スクリーンと増加のペースは抑制的であったが、2024年には前年比27スクリーンの増加となっている。コロナ禍から十分には回復しきれていない中で、導入から10年以上を経過したデジタルシネマ機の更新時期を迎えている。コロナ禍で疲弊した映画館がどのようにしてこの大規模な設備投資を乗り切るかが大きな課題である。

この10年間で大幅にスクリーン数が増えている都道府県は、東京(56増)、埼玉(29増)、神奈川(28増)、熊本(18増)、大阪(15増)である。シネコンはこの10年間で60館563スクリーン新設されている。このうち、21館が東京、千葉、埼玉、神奈川の4都県に、5館が大阪、4館が愛知と、半数が大都市圏に作られている。

この10年間でスクリーン数が8以上減少したのは、群馬(9減)、青森(9減)、兵庫(8減)で、青森と群馬ではシネコン(「青森コロナワールド」「フォーラム八戸」「プレビ劇場ISESAKI」)が閉館、兵庫では、既存興行館(「神戸国際松竹」「シネパレス山陽座」「姫路・大劇シネマ」「姫路OS」)が相次いで閉館した。シネコン以外では、この10年で82館が閉館している。

→ [fig.29](#)

fig.29

都道府県別

スクリーン数の推移  
(2015-2024)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		2015→2024	2023→2024
全国	3,467	3,501	3,531	3,570	3,627	3,669	3,687	3,672	3,682	3,709		242	27
1 北海道	113	114	114	114	114	112	112	112	115	114	3.1%	1	-1
2 青森	44	44	44	44	44	44	44	36	36	35	0.9%	-9	-1
3 岩手	25	25	23	23	23	23	23	23	23	21	0.6%	-4	-2
4 宮城	64	73	72	78	78	78	77	77	77	77	2.1%	13	0
5 秋田	22	22	20	20	20	20	18	18	18	18	0.5%	-4	0
6 山形	56	56	56	56	56	56	54	54	54	54	1.5%	-2	0
7 福島	26	26	26	35	32	32	32	32	33	33	0.9%	7	0
8 茨城	89	89	90	90	90	91	91	91	91	91	2.5%	2	0
9 栃木	55	64	64	64	64	64	64	64	64	64	1.7%	9	0
10 群馬	61	61	61	63	52	52	52	52	52	52	1.4%	-9	0
11 埼玉	209	209	209	209	209	209	219	226	226	238	6.4%	29	12
12 千葉	208	208	209	209	220	220	220	220	220	220	5.9%	12	0
13 東京	359	362	365	378	398	413	414	412	415	415	11.2%	56	0
14 神奈川	218	209	210	199	202	223	223	223	223	246	6.6%	28	23
15 新潟	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	1.7%	0	0
16 富山	24	32	26	27	27	27	28	28	33	33	0.9%	9	0
17 石川	54	54	61	61	61	61	70	62	62	62	1.7%	8	0
18 福井	31	31	31	27	27	27	27	27	27	27	0.7%	-4	0
19 山梨	14	14	14	13	13	13	13	12	12	12	0.3%	-2	0
20 長野	63	63	72	72	72	72	72	72	72	64	1.7%	1	-8
21 岐阜	56	56	56	56	56	56	56	56	56	55	1.5%	-1	-1
22 静岡	97	96	96	96	106	106	106	105	105	106	2.9%	9	1
23 愛知	258	275	293	292	295	281	269	268	268	266	7.2%	8	-2
24 三重	58	58	58	63	63	63	63	63	63	63	1.7%	5	0
25 滋賀	38	38	38	38	38	38	38	38	33	33	0.9%	-5	0
26 京都	75	75	78	78	80	85	85	85	85	82	2.2%	7	-3
27 大阪	226	224	224	224	224	224	234	233	241	241	6.5%	15	0
28 兵庫	128	124	121	119	120	120	120	120	120	120	3.2%	-8	0
29 奈良	34	34	34	34	34	34	34	34	27	27	0.7%	-7	0
30 和歌山	30	30	30	30	30	30	30	30	31	31	0.8%	1	0
31 鳥取	11	11	11	11	11	11	11	11	12	12	0.3%	1	0
32 島根	15	15	15	15	15	15	16	16	16	16	0.4%	1	0
33 岡山	39	39	39	39	39	38	38	34	34	34	0.9%	-5	0
34 広島	72	72	71	80	79	79	79	79	79	79	2.1%	7	0
35 山口	30	30	30	30	30	30	31	31	32	32	0.9%	2	0
36 徳島	10	10	19	19	19	19	19	19	19	19	0.5%	9	0
37 香川	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	0.7%	1	0
38 愛媛	52	59	59	59	59	59	51	46	46	46	1.2%	-6	0
39 高知	10	10	11	11	11	10	10	10	11	11	0.3%	1	0
40 福岡	185	179	164	175	175	177	177	186	185	194	5.2%	9	9
41 佐賀	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21	0.6%	1	0
42 長崎	26	25	25	25	25	25	25	25	25	25	0.7%	-1	0
43 熊本	50	49	49	49	58	58	68	68	68	68	1.8%	18	0
44 大分	35	35	35	36	35	44	44	44	44	44	1.2%	9	0
45 宮崎	18	18	18	18	18	25	26	26	26	26	0.7%	8	0
46 鹿児島	30	31	39	39	39	39	39	39	39	39	1.1%	9	0
47 沖縄	40	42	41	42	55	55	54	54	53	53	1.4%	13	0

『映画年鑑』別冊「映画館名簿」(時事映画通信社刊/キネマ旬報社刊)、『映画上映活動年鑑』(コミュニティシネマセンター刊)参照

都道府県別にみる  
種類別映画館数・スクリーン数の変化  
(2015-2024)

北海道・東北地方  
[北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島]

2015-2024 年に開館した映画館(10 館)  
シネマコンプレックス

北海道(札幌市)  
TOHO シネマズすすきの 2023 年 11 月

北海道(旭川市)  
イオンシネマ旭川駅前 2015 年 3 月

青森県(青森市)  
イオンシネマ新青森 2024 年 3 月  
(←青森コロナワールド)

宮城県(仙台市)  
TOHO シネマズ仙台 2016 年 7 月

宮城県(大河原町)  
ユナイテッド・シネマ フォルテ宮城大河原  
2011 年休館/2018 年 7 月再開  
宮城県(利府町)  
イオンシネマ新利府 2021 年 3 月

福島県(いわき市)  
ポレポレシネマズいわき小名浜 2018 年 6 月

シネマコンプレックス以外

北海道(札幌市)  
サツゲキ 2020 年 7 月

秋田県(秋田市)  
アルヴェシアター 2020 年 12 月

山形県(鶴岡市)  
鶴岡まちなかキネマ  
2020 年 5 月閉館/2022 年再開

福島県(いわき市)  
湯本駅前ミニシアター Kuramoto 2019 年 4 月

福島県(いわき市)  
まちポレいわき 2018 年 6 月(←ポレポレいわき)

2015-2024 年に閉館した映画館(18 館)  
シネマコンプレックス

北海道(札幌市)  
ディノスシネマズ札幌劇場 2019 年 6 月

fig.30 北海道・東北地方		北海道・東北地方の人口		全国シェア	映画館数	全国シェア
2024		13,260,966		10.7%	2024	63 10.6%
2015		14,389,701		11.3%	2015	66 11.4%
増減(人)		-1,128,735				
増減率(%)		-7.8%				

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
北海道・東北地方								
シネマコンプレックス	38	297	39	295	-1	2	0	-1
ミニシアター	9	21	9	19	0	2	1	0
既存興行館	14	32	14	32	0	0	-1	-2
成人映画館	2	2	4	4	-2	-2	-1	-1
シネコン以外	25	55	27	55	-2	0	-1	-3
北海道・東北地方合計	63	352	66	350	-3	2	-1	-4
全国シェア	10.6%	9.5%	11.4%	10.1%				

北海道								
シネマコンプレックス	11	90	12	92	-1	-2	0	0
ミニシアター	5	9	3	4	2	5	1	1
既存興行館	4	14	5	15	-1	-1	-1	-1
成人映画館	1	1	2	2	-1	-1	-1	-1
シネコン以外	10	24	10	21	0	3	-1	-1
北海道合計	21	114	22	113	-1	1	-1	-1

青森県								
シネマコンプレックス	4	29	5	38	-1	-9	0	-1
ミニシアター	1	2	1	2	0	0	0	0
既存興行館	1	3	1	3	0	0	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	3	6	3	6	0	0	0	0
青森県合計	7	35	8	44	-1	-9	0	-1

岩手県								
シネマコンプレックス	2	14	2	14	0	0	0	0
ミニシアター	0	2	1	3	-1	-1	-1	-1
既存興行館	4	5	5	8	-1	-3	0	-1
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	4	7	6	11	-2	-4	-1	-2
岩手県合計	6	21	8	25	-2	-4	-1	-2

宮城県								
シネマコンプレックス	8	71	6	56	2	15	0	0
ミニシアター	1	3	2	4	-1	-1	0	0
既存興行館	1	3	1	3	0	0	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	2	6	4	8	-2	-2	0	0
宮城県合計	10	77	10	64	0	13	0	0

秋田県								
シネマコンプレックス	2	13	3	18	-1	-5	0	0
ミニシアター	1	1	2	3	-1	-2	0	0
既存興行館	2	4	1	1	1	3	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	5	3	4	0	1	0	0
秋田県合計	5	18	6	22	-1	-4	0	0



北海道(旭川市)

ディノスシネマズ旭川 2022年9月

北海道(恵庭市)

恵庭・東宝シネマ8 2015年5月

青森県(青森市)

青森コロナワールド 2021年8月

(→イオンシネマ新青森)

青森県(八戸市)

フォーラム八戸 2023年1月

宮城県(利府町)

MOVIX利府 2020年10月

秋田県(秋田市)

ルミエール秋田 2020年5月

福島県(いわき市)

ボレボレいわき 2018年6月(→まちボレいわき)

### シネマコンプレックス以外

北海道(夕張市)

アディーレ会館ゆうばり 2015年5月

北海道(札幌市)

札東劇場 2023年3月

北海道(札幌市)

マッシュシアター 2024年3月

青森県(弘前市)

テアトル弘前 2024年3月

岩手県(盛岡市)

アート・フォーラム 2023年4月

岩手県(宮古市)

みやこシネマリーン 2016年9月

宮城県(仙台市)

桜井薬局セントラルホール 2018年6月

宮城県(仙台市)

チネ・ラヴィータ 2024年3月

宮城県(石巻市)

石巻日活パールシネマ 2017年6月

秋田県(秋田市)

秋田フォーラス・シネマパレ 2017年2月

山形県(鶴岡市)

鶴岡まちなかキネマ

2020年5月閉館/2022年再開

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
<b>山形県</b>								
シネマコンプレックス	7	51	7	51	0	0	0	0
ミニシアター	0	2	0	3	0	-1	0	0
既存興行館	1	1	1	2	0	-1	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	3	1	5	0	-2	0	0
<b>山形県合計</b>	<b>8</b>	<b>54</b>	<b>8</b>	<b>56</b>	<b>0</b>	<b>-2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>福島県</b>								
シネマコンプレックス	4	29	4	26	0	3	0	0
ミニシアター	1	2	0	0	0	2	0	0
既存興行館	1	2	0	0	1	2	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	4	0	0	1	4	0	0
<b>福島県合計</b>	<b>6</b>	<b>33</b>	<b>4</b>	<b>26</b>	<b>1</b>	<b>7</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

→ fig.30

関東地方

[茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川]

2015-2024 年に開館した映画館 (43 館)

シネマコンプレックス

栃木県 (足利市)

ユナイテッド・シネマ アシコタウンあしかが

2016 年 3 月

埼玉県 (川口市)

イオンシネマ川口 2021 年 6 月

埼玉県 (秩父市)

ユナイテッド・シネマ ウニクス秩父 2022 年 7 月

埼玉県 (所沢市)

T・ジョイ エミテラス所沢 2024 年 9 月

埼玉県 (富士見市)

TOHO シネマズ ららばーと富士見 2015 年 4 月

千葉県 (松戸市)

ユナイテッド・シネマ テラスモール松戸

2019 年 10 月

千葉県 (佐倉市)

シネマサンシャインユーカリが丘 2018 年 6 月

(←イオンシネマユーカリが丘)

千葉県 (柏市)

TOHO シネマズ柏 2016 年 4 月

東京都 (千代田区)

TOHO シネマズ日比谷 2018 年 3 月

東京都 (港区)

ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場

2017 年 4 月 (←お台場シネマメディアージュ)

東京都 (新宿区)

TOHO シネマズ新宿 2015 年 7 月

東京都 (新宿区)

109 シネマズプレミアム新宿 2023 年 4 月

東京都 (台東区)

TOHO シネマズ上野 2017 年 11 月

東京都 (世田谷区)

109 シネマズ二子玉川 2015 年 4 月

東京都 (豊島区)

グランドシネマサンシャイン池袋 2019 年 7 月

東京都 (豊島区)

TOHO シネマズ池袋 2020 年 7 月

東京都 (立川市)

TOHO シネマズ立川立飛 2020 年 9 月

fig.31  
関東地方

関東地方の人口		全国シェア	映画館数		全国シェア
2024	43,602,376	35.2%	2024	204	34.3%
2015	42,995,031	33.8%	2015	189	32.6%
増減 (人)	607,345				
増減率 (%)	1.4%				

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
関東地方								
シネマコンプレックス	127	1,194	116	1,070	11	124	3	34
ミニシアター	57	95	46	76	11	19	1	2
既存興行館	16	30	22	46	-6	-16	0	-1
成人映画館	4	7	5	7	-1	0	0	0
シネコン以外	77	132	73	129	4	3	1	1
関東地方合計	204	1,326	189	1,199	15	127	4	35
全国シェア	34.3%	35.8%	32.6%	34.6%				

茨城県								
シネマコンプレックス	10	84	10	84	0	0	0	0
ミニシアター	1	2	0	0	1	2	0	1
既存興行館	3	4	2	4	1	0	0	-1
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	5	7	3	5	2	2	0	0
茨城県合計	15	91	13	89	2	2	0	0

栃木県								
シネマコンプレックス	7	60	6	52	1	8	0	0
ミニシアター	1	3	1	3	0	0	0	0
既存興行館	1	1	0	0	1	1	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	4	1	3	1	1	0	0
栃木県合計	9	64	7	55	2	9	0	0

群馬県								
シネマコンプレックス	5	47	6	58	-1	-11	0	0
ミニシアター	3	5	2	3	1	2	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	5	2	3	1	2	0	0
群馬県合計	8	52	8	61	0	-9	0	0

埼玉県								
シネマコンプレックス	25	233	22	204	3	29	1	12
ミニシアター	2	2	2	2	0	0	0	0
既存興行館	1	3	1	3	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	5	3	5	0	0	0	0
埼玉県合計	28	238	25	209	3	29	1	12

千葉県								
シネマコンプレックス	22	214	21	202	1	12	0	0
ミニシアター	2	4	2	4	0	0	0	0
既存興行館	1	2	1	2	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	6	3	6	0	0	0	0
千葉県合計	25	220	24	208	1	12	0	0

東京都(調布市)  
イオンシネマ シアタス調布 2017年9月

神奈川県(横浜市)  
T・ジョイ横浜 2020年9月

神奈川県(横浜市)  
ローソン・ユナイテッドシネマSTYLE-S みなと  
みらい 2024年4月

神奈川県(横浜市)  
109シネマズゆめが丘 2024年7月

神奈川県(座間市)  
イオンシネマ座間 2020年3月

シネマコンプレックス以外

茨城県(那珂市)  
あまや座 2017年10月

茨城県(日立市)  
シネマサンライズ 2020年3月

群馬県(前橋市)  
前橋シネマハウス 2018年3月

東京都(新宿区)  
EJアニメシアター 新宿 2018年12月開館  
/2023年8月閉館

東京都(新宿区)  
キノシネマ新宿 2023年11月  
(←EJアニメシアター新宿)

東京都(墨田区)  
ストレンジャー 2022年9月

東京都(世田谷区)  
シモキターエキマエーシネマ K2 2022年1月

東京都(渋谷区)  
ユーロライブ 2015年11月

東京都(渋谷区)  
恵比寿ガーデンシネマ 2015年3月再開  
/2021年2月休館/2022年11月再開

東京都(渋谷区)  
ル・シネマ 渋谷宮下(移転) 2023年6月  
(←渋谷TOEI)

東京都(渋谷区)  
ホワイト シネクイント 2019年11月

東京都(杉並区)  
モーク阿佐ヶ谷 2021年7月(←ユジク阿佐ヶ谷)

東京都(北区)  
シネマ・チュプキ・タバタ 2016年9月

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
東京都								
シネマコンプレックス	34	329	29	266	5	63	0	0
ミニシアター	39	65	33	56	6	9	0	0
既存興行館	8	17	15	33	-7	-16	0	0
成人映画館	2	4	3	4	-1	0	0	0
シネコン以外	49	86	51	93	-2	-7	0	0
東京都合計	83	415	80	359	3	56	0	0
神奈川県								
シネマコンプレックス	24	227	22	204	2	23	2	22
ミニシアター	9	14	6	8	3	6	1	1
既存興行館	2	3	3	4	-1	-1	0	0
成人映画館	1	2	1	2	0	0	0	0
シネコン以外	12	19	10	14	2	5	1	1
神奈川県合計	36	246	32	218	4	28	3	23

東京都(立川市)  
キノシネマ立川高島屋S.C. 館 2019年6月

東京都(武蔵野市)  
ココロラ・動かす・映画館○  
2017年10月開館/2019年9月閉館

東京都(武蔵野市)  
アップリンク吉祥寺 2018年12月

東京都(青梅市)  
シネマネコ 2021年6月

神奈川県(横浜市)  
シネマノヴェチェント 2015年2月

神奈川県(横浜市)  
キノシネマ横浜みなとみらい 2019年4月

神奈川県(藤沢市)  
シネコヤ 2017年4月

神奈川県(小田原市)  
小田原シネマ館 2024年3月

神奈川県(厚木市)  
あつぎのえいがかん kiki 2018年12月  
(→アミューあつぎ映画 .com シネマ)

2015-2024年に閉館した映画館(28館)  
シネマコンプレックス

群馬県(伊勢崎市)  
プレビ劇場 ISESAKI 2019年1月  
(→MOVIX伊勢崎)

埼玉県(三郷市)  
MOVIX三郷 2024年9月

千葉県(佐倉市)  
イオンシネマユーカリが丘 2018年5月  
(→シネマサンシャインユーカリが丘)

東京都(港区)  
お台場シネマメディアージュ 2017年2月  
(→ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場)

東京都(豊島区)  
シネマサンシャイン池袋 2019年7月

神奈川県(横浜市)  
109シネマズMM横浜 2015年1月

神奈川県(大和市)  
イオンシネマつきみ野 2018年2月

シネマコンプレックス以外

東京都(千代田区)  
岩波ホール 2022年7月

東京都(港区)  
シネマート六本木 2015年6月

東京都(新宿区)  
角川シネマ新宿 2018年12月

東京都(新宿区)  
ギンレイホール 2022年11月

東京都(渋谷区)  
アップリンク渋谷 2021年5月

東京都(渋谷区)  
渋谷シネパレス 2018年5月

東京都(渋谷区)  
シネマライズ 2016年7月

東京都(杉並区)  
ユジク阿佐ヶ谷 2020年12月(→モーク阿佐ヶ谷)

東京都(武蔵野市)

ココロヲ・動かす・映画館○

2017年10月開館/2019年9月閉館

東京都(千代田区)

TOHOシネマズ スカラ座/みゆき座

2018年2月(→TOHOシネマズ田比谷)

東京都(千代田区)

TOHOシネマズ有楽座 2015年2月

東京都(千代田区)

TOHOシネマズ日劇 2018年2月

東京都(千代田区)

有楽町スバル座 2019年10月

東京都(墨田区)

楽天地シネマズ錦糸町 2018年11月

東京都(大田区)

テアトル蒲田/蒲田宝塚 2019年9月

東京都(渋谷区)

渋谷TOEI 2022年12月

東京都(八王子市)

ニュー八王子シネマ 2017年1月

東京都(武蔵野市)

吉祥寺プラザ **2024年1月**

東京都(新宿区)

飯田橋くらら劇場 2016年5月

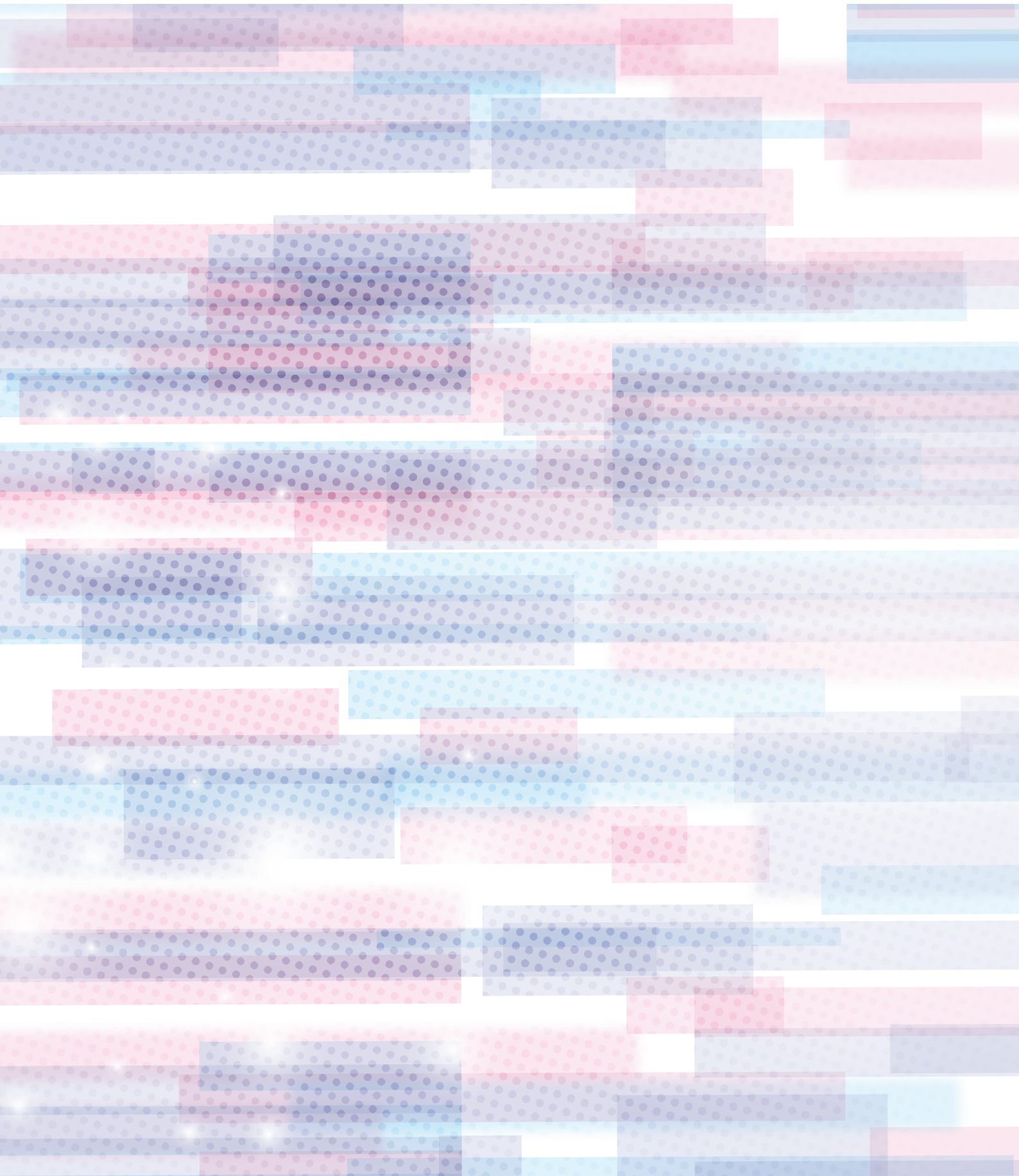
神奈川県(横浜市)

ブリリアショートショートシアター 2017年2月

神奈川県(横浜市)

横浜ニューテアトル 2018年6月

→ **fig.31**





中部地方

[新潟・富山・石川・福井・山梨・長野・岐阜・静岡・愛知]

2015-2024年に開館した映画館(18館)

シネマコンプレックス

富山県(富山市)

J-MAXシアターとやま 2016年6月

富山県(砺波市)

イオンシネマとなみ 2023年7月

石川県(小松市)

イオンシネマ新小松 2017年3月

石川県(白山市)

イオンシネマ白山 2021年7月

長野県(松本市)

イオンシネマ松本 2017年9月

静岡県(沼津市)

シネマサンシャインららぽーと沼津 2019年6月

愛知県(豊田市)

イオンシネマ豊田KiTARA 2017年11月

愛知県(常滑市)

イオンシネマ常滑 2017年7月

愛知県(日進市)

TOHOシネマズ赤池 2017年11月

愛知県(長久手市)

イオンシネマ長久手 2016年12月

シネマコンプレックス以外

新潟県(佐渡市)

ガシマシネマ 2017年4月

富山県(富山市)

ほとり座 2020年6月

富山県(高岡市)

御旅屋座(ダフレンズ) 2020年7月

長野県(上田市)

上田映劇 2017年4月(ミニシアターとして再開)

長野県(上田市)

トラウム・ライゼ 2020年7月

静岡県(伊東市)

金星シネマ 2024年9月

愛知県(名古屋市)

ナゴヤキネマ・ノイ 2024年3月

(←名古屋シネマテーク)

愛知県(名古屋市)

大須シネマ 2019年4月

fig.32  
中部地方

中部地方の人口		全国シェア	映画館数		全国シェア
2024	20,613,786	16.6%	2024	105	17.7%
2015	21,460,745	16.9%	2015	108	18.7%
増減(人)	-846,959				
増減率(%)	-3.9%				

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
中部地方								
シネマコンプレックス	68	626	65	589	3	37	-1	-8
ミニシアター	23	33	17	24	6	9	2	0
既存興行館	8	24	17	39	-9	-15	-1	-2
成人映画館	6	6	9	9	-3	-3	0	0
シネコン以外	37	63	43	72	-6	-9	1	-2
中部地方合計	105	689	108	661	-3	28	0	-10
全国シェア	17.7%	18.6%	18.7%	19.1%				

新潟県								
シネマコンプレックス	7	61	7	61	0	0	0	0
ミニシアター	3	3	3	3	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	3	3	3	0	0	0	0
新潟県合計	10	64	10	64	0	0	0	0

富山県								
シネマコンプレックス	4	31	3	23	1	8	0	0
ミニシアター	2	2	1	1	1	1	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	2	1	1	1	1	0	0
富山県合計	6	33	4	24	2	9	0	0

石川県								
シネマコンプレックス	7	61	6	52	1	9	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	1	1	2	2	-1	-1	0	0
石川県合計	8	62	8	54	0	8	0	0

福井県								
シネマコンプレックス	3	22	3	22	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	1	4	2	8	-1	-4	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	5	3	9	-1	-4	0	0
福井県合計	5	27	6	31	-1	-4	0	0

山梨県								
シネマコンプレックス	1	9	1	9	0	0	0	0
ミニシアター	0	0	0	0	0	0	0	0
既存興行館	2	3	3	4	-1	-1	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	2	3	4	5	-2	-2	0	0
山梨県合計	3	12	5	14	-2	-2	0	0

## 2015-2024年に閉館した映画館(22館)

## シネマコンプレックス

富山県(富山市)

富山シアター大都会 2018年9月

石川県(野々市市)

イオンシネマ御経塚 2021年5月

長野県(佐久市)

佐久アムシネマ 2023年9月

愛知県(名古屋市)

TOHOシネマズ名古屋ベイシティ 2020年11月

愛知県(半田市)

半田コロナシネマワールド 2019年5月

愛知県(春日井市)

春日井コロナシネマワールド 2017年2月

## シネマコンプレックス以外

新潟県(十日町市)

十日町シネマパラダイス 2018年3月

新潟県(新潟市)

映劇大要 2019年8月

富山県(富山市)

フォルツァ総曲輪 2016年9月(→ほとり座)

石川県(金沢市)

金沢駅前シネマ 2020年3月

福井県(福井市)

福井シネマ 2018年9月

山梨県(甲府市)

シアターセントラル Be 館 2023年12月休館

山梨県(笛吹市)

テアトル石和 2018年2月

山梨県(甲府市)

甲南劇場 2021年11月

長野県(長野市)

シネマポイント 2020年6月

静岡県(沼津市)

ジョイランドシネマ沼津 2015年2月

静岡県(沼津市)

沼津シネマ10 2020年12月

愛知県(名古屋市)

名古屋シネマテーク 2023年7月

(→ナゴヤキネマ・ノイ)

愛知県(名古屋市)

名演小劇場 2023年11月

愛知県(名古屋市)

キノシタホール 2019年4月

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
<b>長野県</b>								
シネマコンプレックス	6	45	6	45	0	0	-1	-8
ミニシアター	4	6	2	4	2	2	1	0
既存興行館	4	12	5	13	-1	-1	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	9	19	8	18	1	1	1	0
長野県合計	15	64	14	63	1	1	0	-8
<b>岐阜県</b>								
シネマコンプレックス	5	50	5	50	0	0	0	0
ミニシアター	2	4	0	0	2	4	1	1
既存興行館	0	0	2	5	-2	-5	-1	-2
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	3	5	3	6	0	-1	0	-1
岐阜県合計	8	55	8	56	0	-1	0	-1
<b>静岡県</b>								
シネマコンプレックス	11	96	11	90	0	6	0	0
ミニシアター	3	4	2	3	1	1	1	1
既存興行館	1	5	2	3	-1	2	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	5	10	5	7	0	3	1	1
静岡県合計	16	106	16	97	0	9	1	1
<b>愛知県</b>								
シネマコンプレックス	24	251	23	237	1	14	0	0
ミニシアター	7	12	7	11	0	1	-1	-2
既存興行館	0	0	3	6	-3	-6	0	0
成人映画館	3	3	4	4	-1	-1	0	0
シネコン以外	10	15	14	21	-4	-6	-1	-2
愛知県合計	34	266	37	258	-3	8	-1	-2

愛知県(名古屋市)

ピカデリー 2016年6月

愛知県(豊田市)

トヨタグランド 2019年4月

愛知県(一宮市)

尾西シネラマパワー 2020年12月

→ fig.32

近畿地方

[三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山]

2015-2024年に開館した映画館(17館)

シネマコンプレックス

三重県(津市)

イオンシネマ津南 2018年11月

大阪府(大阪市)

イオンシネマシアタス心斎橋 2021年3月

大阪府(吹田市)

109シネマズ大阪エキスポシティ 2015年11月

大阪府(四條畷市)

イオンシネマ四条畷 2015年10月

大阪府(松原市)

TOHOシネマズ セブンパーク天美 2021年11月

大阪府(門真市)

TOHOシネマズららぽーと門真 2023年4月

兵庫県(姫路市)

アースシネマズ姫路 2015年7月

奈良県(橿原市)

ユナイテッド・シネマ橿原 2015年12月

シネマコンプレックス以外

京都府(京都市)

出町座 2017年12月

京都府(京都市)

京都みなみ会館 2019年8月

リニューアルオープン 2023年閉館

京都府(京都市)

アップリンク京都 2020年6月

京都府(舞鶴市)

シネ・グルージャ 2019年7月

大阪府(大阪市)

キノシネマ心斎橋 2024年12月

大阪府(大阪市)

扇町キネマ 2023年10月

兵庫県(神戸市)

キノシネマ神戸国際 2022年4月

兵庫県(豊岡市)

豊岡劇場 2022年閉館/2023年3月再開

兵庫県(丹波市)

エビスシネマ 2021年7月

和歌山県(和歌山市)

シネマ203 2023年10月

fig.33  
近畿地方

近畿地方の人口		全国シェア	映画館数		全国シェア
2024	21,905,135	17.7%	2024	95	16.0%
2015	22,541,298	17.7%	2015	97	16.8%
増減(人)		-636,163			
増減率(%)		-2.8%			

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
近畿地方								
シネマコンプレックス	55	516	54	498	1	18	0	0
ミニシアター	20	43	17	32	3	11	-1	-1
既存興行館	11	28	15	47	-4	-19	0	-2
成人映画館	9	10	11	12	-2	-2	0	0
シネコン以外	40	81	43	91	-3	-10	-1	-3
近畿地方合計	95	597	97	589	-2	8	-1	-3
全国シェア	16.0%	16.1%	16.8%	17.0%				

三重県								
シネマコンプレックス	7	59	6	50	1	9	0	0
ミニシアター	1	2	1	2	0	0	0	0
既存興行館	0	0	1	4	-1	-4	0	0
成人映画館	2	2	2	2	0	0	0	0
シネコン以外	3	4	4	8	-1	-4	0	0
三重県合計	10	63	10	58	0	5	0	0

滋賀県								
シネマコンプレックス	4	29	5	34	-1	-5	0	0
ミニシアター	0	0	0	0	0	0	0	0
既存興行館	1	4	1	4	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	4	1	4	0	0	0	0
滋賀県合計	5	33	6	38	-1	-5	0	0

京都府								
シネマコンプレックス	6	64	6	64	0	0	0	0
ミニシアター	4	10	2	4	2	6	-1	-3
既存興行館	2	6	2	5	0	1	0	0
成人映画館	2	2	2	2	0	0	0	0
シネコン以外	8	18	6	11	2	7	-1	-3
京都府合計	14	82	12	75	2	7	-1	-3

大阪府								
シネマコンプレックス	23	224	21	204	2	20	0	0
ミニシアター	7	13	8	15	-1	-2	0	0
既存興行館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
成人映画館	3	4	5	6	-2	-2	0	0
シネコン以外	10	17	14	22	-4	-5	0	0
大阪府合計	33	241	35	226	-2	15	0	0

兵庫県								
シネマコンプレックス	10	93	10	92	0	1	0	0
ミニシアター	7	17	6	11	1	6	0	2
既存興行館	5	8	7	23	-2	-15	0	-2
成人映画館	2	2	2	2	0	0	0	0
シネコン以外	14	27	15	36	-1	-9	0	0
兵庫県合計	24	120	25	128	-1	-8	0	0

2015-2024年に閉館した映画館(15館)

シネマコンプレックス

滋賀県(大津市)  
大津アレックスシネマ 2022年3月  
大阪府(東大阪市)  
布施ラインシネマ 2020年2月  
奈良県(河合町)  
イオンシネマ西大和 2022年8月

シネマコンプレックス以外

三重県(伊賀市)  
ジストシネマ伊賀上野 2018年2月  
京都府(京都市)  
京都みなみ会館 2023年9月  
大阪府(大阪市)  
テアトル梅田 2022年9月  
大阪府(大阪市)  
シネ・リーブル梅田 2024年4月  
(→テアトル梅田に名称変更)  
大阪府(大阪市)  
シネマート心斎橋 2024年10月  
大阪府(大阪市)  
トビタシネマ/飛田東映 2015年3月  
大阪府(大阪市)  
淡路東宝 2017年5月  
大阪府(大阪市)  
新世界日活劇場 2015年9月  
大阪府(大阪市)  
国名小劇 2021年12月  
兵庫県(神戸市)  
神戸国際松竹 2022年3月  
兵庫県(姫路市)  
シネパレス山陽座 2016年1月  
兵庫県(姫路市)  
姫路・大劇シネマ 2015年11月  
兵庫県(姫路市)  
姫路OS 2016年1月

→ fig.33

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
奈良県								
シネマコンプレックス	3	27	4	34	-1	-7	0	0
ミニシアター	0	0	0	0	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県合計	3	27	4	34	-1	-7	0	0
和歌山県								
シネマコンプレックス	2	20	2	20	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	0	0	1	1	0	0
既存興行館	3	10	3	10	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	4	11	3	10	1	1	0	0
和歌山県合計	6	31	5	30	1	1	0	0

中国・四国地方

[鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知]

2015-2024年に開館した映画館(8館)

シネマコンプレックス

広島県(広島市)  
イオンシネマ広島西風新都 2018年4月

徳島県(徳島市)  
イオンシネマ徳島 2017年4月

愛媛県(今治市)  
イオンシネマ今治新都市 2016年6月

シネマコンプレックス以外

鳥取県(湯梨浜町)  
ジグシアター 2021年7月

島根県(益田市)  
小野沢シネマ 2022年1月(再開)

広島県(広島市)  
横川有楽座 2018年11月

山口県(下関市)  
シネマポスト 2023年10月

高知県(高知市)  
キネマ ミュージアム 2023年10月

fig.34		中国・四国地方の人口		全国シェア	映画館数		全国シェア
中国・四国地方		2024	10,532,898	8.5%	2024	51	8.6%
		2015	11,264,210	8.9%	2015	49	8.5%
		増減(人)	-731,312				
		増減率(%)	-6.5%				

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
中国・四国地方								
シネマコンプレックス	30	243	29	229	1	14	0	0
ミニシアター	14	22	10	15	4	7	0	1
既存興行館	5	8	8	17	-3	-9	0	-1
成人映画館	2	2	2	3	0	-1	0	0
シネコン以外	21	32	20	35	1	-3	0	0
中国・四国地方合計	51	275	49	264	2	11	0	0
全国シェア	8.6%	7.4%	8.5%	7.6%				

鳥取県								
シネマコンプレックス	1	6	1	6	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	0	0	1	1	0	0
既存興行館	2	5	2	5	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	3	6	2	5	1	1	0	0
鳥取県合計	4	12	3	11	1	1	0	0

島根県								
シネマコンプレックス	2	15	2	15	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	0	0	1	1	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	1	0	0	1	1	0	0
島根県合計	3	16	2	15	1	1	0	0

岡山県								
シネマコンプレックス	3	31	3	31	0	0	0	0
ミニシアター	1	2	1	2	0	0	0	0
既存興行館	1	1	2	5	-1	-4	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	2	3	4	8	-2	-5	0	0
岡山県合計	5	34	7	39	-2	-5	0	0

広島県								
シネマコンプレックス	8	68	7	59	1	9	0	0
ミニシアター	5	9	6	9	-1	0	0	1
既存興行館	1	1	1	2	0	-1	0	-1
成人映画館	1	1	1	2	0	-1	0	0
シネコン以外	7	11	8	13	-1	-2	0	0
広島県合計	15	79	15	72	0	7	0	0

山口県								
シネマコンプレックス	4	29	4	29	0	0	0	0
ミニシアター	2	3	1	1	1	2	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	3	1	1	1	2	0	0
山口県合計	6	32	5	30	1	2	0	0



## 2015-2024年に閉館した映画館(9館)

シネマコンプレックス

愛媛県(松山市)

シネマサンシャイン大街道 2021年1月

愛媛県(大洲市)

シネマサンシャイン大州 2019年1月

シネマコンプレックス以外

岡山県(岡山市)

ジョリー東宝 2022年1月(→メルパ)

岡山県(岡山市)

岡山日活 2019年12月

広島県(広島市)

広島シネ・ツイン本通り 2016年10月

広島県(広島市)

広島劇場シネマ/有楽座 2018年9月閉館

(→横川有楽座)

広島県(広島市)

広島横川銀映 2018年9月

愛媛県(今治市)

アイシネマ今治 2016年10月休館

高知県(高知市)

高知あたと劇場 2024年12月休館

→ fig.34

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
<b>徳島県</b>								
シネマコンプレックス	2	17	1	8	1	9	0	0
ミニシアター	1	2	0	0	1	2	0	0
既存興行館	0	0	1	2	-1	-2	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	2	1	2	0	0	0	0
<b>徳島県合計</b>	<b>3</b>	<b>19</b>	<b>2</b>	<b>10</b>	<b>1</b>	<b>9</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>香川県</b>								
シネマコンプレックス	3	23	3	23	0	0	0	0
ミニシアター	1	2	1	2	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	1	1	0	0	1	1	0	0
シネコン以外	2	3	1	2	1	1	0	0
<b>香川県合計</b>	<b>5</b>	<b>26</b>	<b>4</b>	<b>25</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>愛媛県</b>								
シネマコンプレックス	6	45	7	49	-1	-4	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	0	0	1	2	-1	-2	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	1	1	2	3	-1	-2	0	0
<b>愛媛県合計</b>	<b>7</b>	<b>46</b>	<b>9</b>	<b>52</b>	<b>-2</b>	<b>-6</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>高知県</b>								
シネマコンプレックス	1	9	1	9	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	0	0	1	1	0	0
既存興行館	1	1	1	1	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	2	1	1	1	1	0	0
<b>高知県合計</b>	<b>3</b>	<b>11</b>	<b>2</b>	<b>10</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

九州・沖縄地方

[福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・  
沖縄]

2015-2024年に開館した映画館(18館)

シネマコンプレックス

福岡県(福岡市)  
ユナイテッド・シネマ福岡もち 2018年11月  
リニューアルオープン

福岡県(福岡市)  
TOHOシネマズららぽーと福岡 2022年4月  
福岡県(飯塚市)  
シネマサンシャイン飯塚 2023年7月

熊本県(熊本市)  
TOHOシネマズ 熊本サクラマチ 2019年9月  
熊本県(熊本市)  
熊本ピカデリー 2021年4月

大分県(大分市)  
TOHOシネマズアミュプラザおおいた  
2015年4月  
大分県(中津市)  
セントラルシネマ三光 2020年3月  
宮崎県(宮崎市)  
ワンダーアティックシネマ 2020年11月

鹿児島県(始良市)  
シネマサンシャイン始良 2017年4月  
沖縄県(浦添市)  
ユナイテッド・シネマ PARCO CITY 浦添  
2019年6月

沖縄県(北中城村)  
シネマライカム 2015年4月

シネマコンプレックス以外

福岡県(福岡市)  
キノシネマ天神 2020年4月  
福岡県(大川市)  
大川シネマホール 2015年10月

佐賀県(唐津市)  
シアターエンヤ 2019年10月  
大分県(豊後高田市)  
玉津東天紅 2017年4月

沖縄県(沖縄市)  
シアタードーナツ 2015年4月  
沖縄県(沖縄市)  
シネマプラザハウス1954 2019年11月

fig.35					
九州・沖縄地方		九州・沖縄地方の人口	全国シェア	映画館数	全国シェア
2024		13,946,570	11.3%	2024	76
2015		14,441,199	11.4%	2015	70
増減(人)		-494,629			
増減率(%)		-3.4%			

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
九州・沖縄地方								
シネマコンプレックス	45	415	38	354	7	61	1	9
ミニシアター	19	32	12	20	7	12	0	0
既存興行館	8	17	9	18	-1	-1	0	0
成人映画館	4	6	11	12	-7	-6	0	0
シネコン以外	31	55	32	50	-1	5	0	0
九州・沖縄地方合計	76	470	70	404	6	66	1	9
全国シェア	12.8%	12.7%	12.1%	11.7%				

福岡県								
シネマコンプレックス	18	176	17	169	1	7	1	9
ミニシアター	3	6	2	4	1	2	0	0
既存興行館	3	8	3	7	0	1	0	0
成人映画館	2	4	4	5	-2	-1	0	0
シネコン以外	8	18	9	16	-1	2	0	0
福岡県合計	26	194	26	185	0	9	1	9

佐賀県								
シネマコンプレックス	2	18	2	18	0	0	0	0
ミニシアター	2	3	1	2	1	1	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0	0	0
シネコン以外	2	3	1	2	1	1	0	0
佐賀県合計	4	21	3	20	1	1	0	0

長崎県								
シネマコンプレックス	3	24	3	24	0	0	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	1	1	2	2	-1	-1	0	0
長崎県合計	4	25	5	26	-1	-1	0	0

熊本県								
シネマコンプレックス	7	63	5	44	2	19	0	0
ミニシアター	2	4	1	3	1	1	0	0
既存興行館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
成人映画館	1	1	2	2	-1	-1	0	0
シネコン以外	3	5	4	6	-1	-1	0	0
熊本県合計	10	68	9	50	1	18	0	0

大分県								
シネマコンプレックス	4	38	3	30	1	8	0	0
ミニシアター	5	5	4	4	1	1	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0	0	0
シネコン以外	6	6	5	5	1	1	0	0
大分県合計	10	44	8	35	2	9	0	0

沖縄県(石垣市)

ゆいロードシアター

2018年8月開館/2020年4月休館

## 2015-2024年に閉館した映画館(11館)

### シネマコンプレックス

福岡県(福岡市)

TOHOシネマズ天神本館(天神東宝)

2017年3月

### シネマコンプレックス以外

福岡県(福岡市)

福岡中洲大洋 2024年3月休館

福岡県(飯塚市)

飯塚シネマセントラル 2015年3月

福岡県(北九州市)

八幡有楽劇場 2019年6月

長崎県(長崎市)

長崎千日劇場 2015年12月

熊本県(八代市)

八代駅前東映 2015年

宮崎県(宮崎市)

宮崎ロマン 2020年7月

鹿児島県(鹿児島市)

鹿児島旭シネマ 2017年9月

沖縄県(石垣市)

ゆいロードシアター

2018年8月開館/2020年4月休館

沖縄県(沖縄市)

コザ琉映 2016年7月

沖縄県(那覇市)

首里劇場 2022年4月

→ fig.35

	2024		2015		2015→2024		2023→2024	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
<b>宮崎県</b>								
シネマコンプレックス	2	16	1	9	1	7	0	0
ミニシアター	1	4	1	2	0	2	0	0
既存興行館	2	6	2	6	0	0	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	3	10	4	9	-1	1	0	0
<b>宮崎県合計</b>	<b>5</b>	<b>26</b>	<b>5</b>	<b>18</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>鹿児島県</b>								
シネマコンプレックス	4	36	3	27	1	9	0	0
ミニシアター	1	1	1	1	0	0	0	0
既存興行館	2	2	1	1	1	1	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	3	3	3	3	0	0	0	0
<b>鹿児島県合計</b>	<b>7</b>	<b>39</b>	<b>6</b>	<b>30</b>	<b>1</b>	<b>9</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>沖縄県</b>								
シネマコンプレックス	5	44	4	33	1	11	0	0
ミニシアター	4	8	1	3	3	5	0	0
既存興行館	1	1	2	3	-1	-2	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1	0	0
シネコン以外	5	9	4	7	1	2	0	0
<b>沖縄県合計</b>	<b>10</b>	<b>53</b>	<b>8</b>	<b>40</b>	<b>2</b>	<b>13</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

I | 映画館での上映

5

全国映画館リスト2024

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
1	北海道	札幌市	ユナイテッド・シネマ札幌	11	シネマコンプレックス
2	北海道	札幌市	札幌シネマフロンティア	12	シネマコンプレックス
3	北海道	札幌市	TOHO シネマズすすきの	10	シネマコンプレックス
4	北海道	札幌市	シアターキノ	2	ミニシアター / 名画座
5	北海道	札幌市	サツゲキ	4	ミニシアター / 名画座
6	北海道	札幌市	マッソプシアター	1	成人映画館
7	北海道	函館市	シネマアイリス	1	ミニシアター / 名画座
8	北海道	函館市	シネマ太陽函館	4	既存興行館
9	北海道	小樽市	イオンシネマ小樽	7	シネマコンプレックス
10	北海道	旭川市	シネプレックス旭川	7	シネマコンプレックス
11	北海道	旭川市	イオンシネマ旭川駅前	8	シネマコンプレックス
12	北海道	室蘭市	ディノスシネマズ室蘭	4	既存興行館
13	北海道	帯広市	シネマ太陽帯広	5	シネマコンプレックス
14	北海道	北見市	イオンシネマ北見	7	シネマコンプレックス
15	北海道	苫小牧市	ディノスシネマズ苫小牧	7	シネマコンプレックス
16	北海道	苫小牧市	シネマ・トーラス	1	ミニシアター / 名画座
17	北海道	稚内市	T・ジョイ稚内	3	既存興行館
18	北海道	江別市	イオンシネマ江別	8	シネマコンプレックス
19	北海道	千歳市	新千歳空港シアター	3	既存興行館
20	北海道	浦河町	浦河大黒座	1	ミニシアター / 名画座
21	北海道	釧路町	イオンシネマ釧路	8	シネマコンプレックス
22	青森県	青森市	イオンシネマ新青森	8	シネマコンプレックス
23	青森県	青森市	シネマディクト	2	ミニシアター / 名画座
24	青森県	青森市	青森松竹アムゼ	3	既存興行館
25	青森県	弘前市	イオンシネマ弘前	6	シネマコンプレックス
26	青森県	弘前市	テアトル弘前	1	成人映画館
27	青森県	つがる市	シネマヴィレッジ8・イオン柏	8	シネマコンプレックス
28	青森県	おいらせ町	TOHO シネマズおいらせ下田	7	シネマコンプレックス
29	岩手県	盛岡市	フォーラム盛岡	7	シネマコンプレックス
30	岩手県	盛岡市	盛岡中央映画劇場	2	既存興行館  ミニシアター / 名画座
31	岩手県	盛岡市	盛岡ルミエール	2	既存興行館  ミニシアター / 名画座
32	岩手県	盛岡市	盛岡ピカデリー	1	既存興行館
33	岩手県	北上市	イオンシネマ北上	7	シネマコンプレックス
34	岩手県	一関市	一関シネプラザ	2	既存興行館
35	宮城県	仙台市	MOVIX 仙台	10	シネマコンプレックス
36	宮城県	仙台市	TOHO シネマズ仙台	9	シネマコンプレックス
37	宮城県	仙台市	フォーラム仙台	3	ミニシアター / 名画座
38	宮城県	仙台市	チネ・ラヴィータ	3	既存興行館
39	宮城県	石巻市	イオンシネマ石巻	8	シネマコンプレックス
40	宮城県	名取市	イオンシネマ名取	10	シネマコンプレックス
41	宮城県	大崎市	シネマ・リオーネ古川	6	シネマコンプレックス
42	宮城県	富谷市	109シネマズ富谷	10	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
43	宮城県	大河原町	ユナイテッド・シネマ フォルテ宮城大河原	7	シネマコンプレックス
44	宮城県	利府町	イオンシネマ新利府	11	シネマコンプレックス
45	秋田県	秋田市	TOHO シネマズ秋田	8	シネマコンプレックス
46	秋田県	秋田市	アルヴェシアター	3	既存興行館
47	秋田県	能代市	イオンファミリーシアター能代	1	既存興行館
48	秋田県	大館市	御成座	1	ミニシアター / 名画座
49	秋田県	大仙市	イオンシネマ大曲	5	シネマコンプレックス
50	山形県	山形市	フォーラム山形	5	シネマコンプレックス  ミニシアター / 名画座
51	山形県	山形市	ソラリス	6	シネマコンプレックス
52	山形県	山形市	MOVIE ON やまがた	10	シネマコンプレックス
53	山形県	米沢市	イオンシネマ米沢	7	シネマコンプレックス
54	山形県	鶴岡市	鶴岡まちなかキネマ	2	既存興行館  ミニシアター / 名画座
55	山形県	天童市	イオンシネマ天童	9	シネマコンプレックス
56	山形県	東根市	フォーラム東根	8	シネマコンプレックス
57	山形県	三川町	イオンシネマ三川	7	シネマコンプレックス
58	福島県	福島市	フォーラム福島	6	シネマコンプレックス  ミニシアター / 名画座
59	福島県	福島市	イオンシネマ福島	9	シネマコンプレックス
60	福島県	郡山市	郡山テアトル	6	シネマコンプレックス
61	福島県	いわき市	ボレボレシネマズいわき小名浜	9	シネマコンプレックス
62	福島県	いわき市	湯本駅前ミニシアター Kuramoto	1	ミニシアター / 名画座
63	福島県	いわき市	まちボレいわき	2	既存興行館
64	茨城県	水戸市	TOHO シネマズ水戸内原	8	シネマコンプレックス
65	茨城県	水戸市	ユナイテッド・シネマ水戸	8	シネマコンプレックス
66	茨城県	水戸市	水戸銀星映画劇場	1	成人映画館
67	茨城県	日立市	シネマサンライズ	1	既存興行館
68	茨城県	土浦市	シネマサンシャイン土浦	9	シネマコンプレックス
69	茨城県	土浦市	土浦セントラルシネマズ	2	既存興行館  ミニシアター / 名画座
70	茨城県	下妻市	イオンシネマ下妻	5	シネマコンプレックス
71	茨城県	笠間市	笠間ボレボレホール	2	既存興行館
72	茨城県	つくば市	シネプレックスつくば	8	シネマコンプレックス
73	茨城県	つくば市	MOVIX つくば	9	シネマコンプレックス
74	茨城県	つくば市	US シネマつくば	10	シネマコンプレックス
75	茨城県	ひたちなか市	TOHO シネマズひたちなか	10	シネマコンプレックス
76	茨城県	守谷市	イオンシネマ守谷	10	シネマコンプレックス
77	茨城県	那珂市	あまや座	1	ミニシアター / 名画座
78	茨城県	稲敷市	US シネマバルナ稲敷	7	シネマコンプレックス
79	栃木県	宇都宮市	MOVIX 宇都宮	10	シネマコンプレックス
80	栃木県	宇都宮市	TOHO シネマズ宇都宮	10	シネマコンプレックス

2024年1月1日から12月31日まで営業があった映画館を掲載している。「映画館名簿」(キネマ旬報社)に掲載されていない映画館でも、恒常的な上映を行っている場合は追加し、また、掲載されている映画館でも、上映実績が確認できなかった場合は載せていない。

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
81	栃木県	宇都宮市	宇都宮ヒカリ座	3	ミニシアター / 名画座
82	栃木県	足利市	ユナイテッド・シネマ アシコタウンあしかが	8	シネマコンプレックス
83	栃木県	佐野市	109シネマズ佐野	10	シネマコンプレックス
84	栃木県	小山市	小山シネマロブレ	5	シネマコンプレックス
85	栃木県	小山市	シネマハーヴェスト	8	シネマコンプレックス
86	栃木県	那須塩原市	フォーラム那須塩原	9	シネマコンプレックス
87	栃木県	茂木町	もびあホール	1	既存興行館
88	群馬県	前橋市	ユナイテッド・シネマ前橋	9	シネマコンプレックス
89	群馬県	前橋市	前橋シネマハウス	2	ミニシアター / 名画座
90	群馬県	高崎市	109シネマズ高崎	8	シネマコンプレックス
91	群馬県	高崎市	イオンシネマ高崎	10	シネマコンプレックス
92	群馬県	高崎市	シネマテークたかさき	2	ミニシアター / 名画座
93	群馬県	高崎市	高崎電気館	1	ミニシアター / 名画座
94	群馬県	伊勢崎市	MOVIX 伊勢崎	10	シネマコンプレックス
95	群馬県	太田市	イオンシネマ太田	10	シネマコンプレックス
96	埼玉県	さいたま市	イオンシネマ大宮	8	シネマコンプレックス
97	埼玉県	さいたま市	MOVIX さいたま	12	シネマコンプレックス
98	埼玉県	さいたま市	イオンシネマ浦和美園	11	シネマコンプレックス
99	埼玉県	さいたま市	ユナイテッド・シネマ浦和	9	シネマコンプレックス
100	埼玉県	川越市	ユナイテッド・シネマ ウニクス南古谷	9	シネマコンプレックス
101	埼玉県	川越市	川越スカラ座	1	ミニシアター / 名画座
102	埼玉県	熊谷市	イオンシネマ熊谷	8	シネマコンプレックス
103	埼玉県	熊谷市	シネティアラ21	8	シネマコンプレックス
104	埼玉県	川口市	MOVIX 川口	9	シネマコンプレックス
105	埼玉県	川口市	イオンシネマ川口	10	シネマコンプレックス
106	埼玉県	秩父市	ユナイテッド・シネマ ウニクス秩父	7	シネマコンプレックス
107	埼玉県	所沢市	T・ジョイ エミテラス所沢	12	シネマコンプレックス
108	埼玉県	所沢市	新所沢 Let's シネパーク	3	既存興行館
109	埼玉県	春日部市	ユナイテッド・シネマ春日部	9	シネマコンプレックス
110	埼玉県	春日部市	イオンシネマ春日部	10	シネマコンプレックス
111	埼玉県	羽生市	イオンシネマ羽生	9	シネマコンプレックス
112	埼玉県	鴻巣市	こうのすシネマ	8	シネマコンプレックス
113	埼玉県	深谷市	深谷シネマ	1	ミニシアター / 名画座
114	埼玉県	越谷市	イオンシネマ越谷レイクタウン	10	シネマコンプレックス
115	埼玉県	入間市	ユナイテッド・シネマ入間	9	シネマコンプレックス
116	埼玉県	新座市	ユナイテッド・シネマ新座	9	シネマコンプレックス
117	埼玉県	久喜市	109シネマズ菫蒲	11	シネマコンプレックス
118	埼玉県	富士見市	TOHOシネマズ ららぽーと富士見	9	シネマコンプレックス
119	埼玉県	三郷市	MOVIX 三郷	12	シネマコンプレックス
120	埼玉県	幸手市	シネプレックス幸手	9	シネマコンプレックス
121	埼玉県	鶴ヶ島市	ユナイテッド・シネマわかば	9	シネマコンプレックス
122	埼玉県	ふじみ野市	イオンシネマ大井	7	シネマコンプレックス
123	埼玉県	上里町	ユナイテッド・シネマ ウニクス上里	9	シネマコンプレックス
124	千葉県	千葉市	京成ロザ	10	シネマコンプレックス
125	千葉県	千葉市	ユナイテッド・シネマ幕張	10	シネマコンプレックス
126	千葉県	千葉市	T・ジョイ蘇我	12	シネマコンプレックス
127	千葉県	千葉市	イオンシネマ幕張新都心	10	シネマコンプレックス
128	千葉県	千葉市	千葉劇場	1	ミニシアター / 名画座
129	千葉県	銚子市	イオンシネマ銚子	5	シネマコンプレックス
130	千葉県	市川市	TOHOシネマズ 市川コルトンプラザ	9	シネマコンプレックス
131	千葉県	市川市	イオンシネマ市川妙典	9	シネマコンプレックス
132	千葉県	船橋市	TOHOシネマズららぽーと船橋	10	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
133	千葉県	木更津市	USシネマ木更津	10	シネマコンプレックス
134	千葉県	松戸市	ユナイテッド・シネマ テラスモール松戸	11	シネマコンプレックス
135	千葉県	野田市	イオンスペースシネマ野田	2	既存興行館
136	千葉県	成田市	成田HUMAXシネマズ	10	シネマコンプレックス
137	千葉県	佐倉市	シネマサンシャインユーカリが丘	8	シネマコンプレックス
138	千葉県	旭市	旭サンモールシネマ	6	シネマコンプレックス
139	千葉県	柏市	MOVIX 柏の葉	10	シネマコンプレックス
140	千葉県	柏市	TOHOシネマズ柏	9	シネマコンプレックス
141	千葉県	柏市	キネマ旬報シアター	3	ミニシアター / 名画座
142	千葉県	市原市	USシネマちはら台	10	シネマコンプレックス
143	千葉県	市原市	TOHOシネマズ市原	10	シネマコンプレックス
144	千葉県	流山市	TOHOシネマズ流山おおたかの森	11	シネマコンプレックス
145	千葉県	八千代市	TOHOシネマズ八千代緑が丘	10	シネマコンプレックス
146	千葉県	浦安市	シネマイクスピアリ	16	シネマコンプレックス
147	千葉県	印西市	イオンシネマ千葉ニュータウン	8	シネマコンプレックス
148	千葉県	印西市	USシネマ千葉ニュータウン	10	シネマコンプレックス
149	東京都	千代田区	TOHOシネマズ日比谷	13	シネマコンプレックス
150	東京都	千代田区	TOHOシネマズシャンテ	3	ミニシアター / 名画座
151	東京都	千代田区	丸の内ピカデリー	3	既存興行館
152	東京都	千代田区	ヒューマントラストシネマ有楽町	2	ミニシアター / 名画座
153	東京都	千代田区	角川シネマ有楽町	1	ミニシアター / 名画座
154	東京都	千代田区	神保町シアター	1	ミニシアター / 名画座
155	東京都	中央区	TOHOシネマズ日本橋	9	シネマコンプレックス
156	東京都	中央区	シネスイッチ銀座	2	ミニシアター / 名画座
157	東京都	中央区	丸の内TOEI	2	既存興行館
158	東京都	中央区	東劇	1	既存興行館
159	東京都	港区	ユナイテッド・シネマ アクアシティお台場	13	シネマコンプレックス
160	東京都	港区	T・ジョイ PRINCE 品川	11	シネマコンプレックス
161	東京都	港区	TOHOシネマズ六本木ヒルズ	9	シネマコンプレックス
162	東京都	新宿区	新宿バルト9	9	シネマコンプレックス
163	東京都	新宿区	新宿ピカデリー	10	シネマコンプレックス
164	東京都	新宿区	TOHOシネマズ新宿	12	シネマコンプレックス
165	東京都	新宿区	109シネマズプレミアム新宿	8	シネマコンプレックス
166	東京都	新宿区	テアトル新宿	1	ミニシアター / 名画座
167	東京都	新宿区	新宿武蔵野館	3	ミニシアター / 名画座
168	東京都	新宿区	シネマカリテ	2	ミニシアター / 名画座
169	東京都	新宿区	ケイズシネマ	1	ミニシアター / 名画座
170	東京都	新宿区	シネマート新宿	2	ミニシアター / 名画座
171	東京都	新宿区	キノシネマ新宿	2	ミニシアター / 名画座
172	東京都	新宿区	早稲田松竹	1	ミニシアター / 名画座
173	東京都	台東区	TOHOシネマズ上野	8	シネマコンプレックス
174	東京都	台東区	上野オークラ劇場 / 上野特選劇場	3	成人映画館
175	東京都	墨田区	TOHOシネマズ錦糸町オリナス	12	シネマコンプレックス
176	東京都	墨田区	ストレンジャー	1	ミニシアター / 名画座
177	東京都	江東区	109シネマズ木場	8	シネマコンプレックス
178	東京都	江東区	ユナイテッド・シネマ豊洲	12	シネマコンプレックス
179	東京都	品川区	キネカ大森	3	ミニシアター / 名画座
180	東京都	品川区	目黒シネマ	1	ミニシアター / 名画座
181	東京都	目黒区	東京都写真美術館ホール	1	ミニシアター / 名画座
182	東京都	大田区	シネマサンシャイン平和島	7	シネマコンプレックス
183	東京都	世田谷区	109シネマズ二子玉川	10	シネマコンプレックス
184	東京都	世田谷区	下高井戸シネマ	1	ミニシアター / 名画座
185	東京都	世田谷区	下北沢トリウッド	1	ミニシアター / 名画座



no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
186	東京都	世田谷区	シモキターエキマエーシネマ K2	1	ミニシアター / 名画座
187	東京都	渋谷区	TOHO シネマズ渋谷	6	シネマコンプレックス
188	東京都	渋谷区	ユーロスペース	2	ミニシアター / 名画座
189	東京都	渋谷区	ユーロライブ	1	ミニシアター / 名画座
190	東京都	渋谷区	シネマヴェーラ渋谷	1	ミニシアター / 名画座
191	東京都	渋谷区	ル・シネマ渋谷宮下	2	ミニシアター / 名画座
192	東京都	渋谷区	恵比寿ガーデンシネマ	2	ミニシアター / 名画座
193	東京都	渋谷区	シネクイント	2	ミニシアター / 名画座
194	東京都	渋谷区	ホワイト シネクイント	1	ミニシアター / 名画座
195	東京都	渋谷区	シアター・イメージフォーラム	2	ミニシアター / 名画座
196	東京都	渋谷区	ヒューマントラストシネマ渋谷	3	ミニシアター / 名画座
197	東京都	渋谷区	渋谷HUMAXシネマ	1	既存興行館
198	東京都	中野区	ボレポレ東中野	1	ミニシアター / 名画座
199	東京都	杉並区	ラピュタ阿佐ヶ谷	1	ミニシアター / 名画座
200	東京都	杉並区	モーク阿佐ヶ谷	1	ミニシアター / 名画座
201	東京都	豊島区	グランドシネマサンシャイン池袋	12	シネマコンプレックス
202	東京都	豊島区	TOHO シネマズ池袋	10	シネマコンプレックス
203	東京都	豊島区	シネ・リーブル池袋	2	ミニシアター / 名画座
204	東京都	豊島区	新文芸坐	1	ミニシアター / 名画座
205	東京都	豊島区	シネマ・ロサ	2	ミニシアター / 名画座
206	東京都	豊島区	池袋HUMAXシネマズ	4	既存興行館
207	東京都	豊島区	シネロマン池袋	1	成人映画館
208	東京都	北区	シネマ・チュブキ・タバタ	1	ミニシアター / 名画座
209	東京都	板橋区	イオンシネマ板橋	12	シネマコンプレックス
210	東京都	練馬区	T・ジョイ SEIBU 大泉	9	シネマコンプレックス
211	東京都	練馬区	ユナイテッド・シネマとしまえん	9	シネマコンプレックス
212	東京都	足立区	TOHO シネマズ西新井	10	シネマコンプレックス
213	東京都	足立区	シネマブルーススタジオ	1	ミニシアター / 名画座
214	東京都	葛飾区	MOVIX 亀有	10	シネマコンプレックス
215	東京都	江戸川区	船堀シネバル	2	既存興行館
216	東京都	八王子市	TOHO シネマズ南大沢	9	シネマコンプレックス
217	東京都	立川市	シネマシティ	6	シネマコンプレックス
218	東京都	立川市	シネマ・ツー	5	シネマコンプレックス
219	東京都	立川市	TOHO シネマズ立川立飛	9	シネマコンプレックス
220	東京都	立川市	キノシネマ立川高島屋 S.C. 館	3	ミニシアター / 名画座
221	東京都	武蔵野市	アップリンク吉祥寺	5	ミニシアター / 名画座
222	東京都	武蔵野市	吉祥寺オデラン	3	既存興行館
223	東京都	武蔵野市	吉祥寺プラザ	1	既存興行館
224	東京都	青梅市	シネマネコ	1	ミニシアター / 名画座
225	東京都	府中市	TOHO シネマズ府中	9	シネマコンプレックス
226	東京都	昭島市	MOVIX 昭島	12	シネマコンプレックス
227	東京都	調布市	イオンシネマ シアタス調布	11	シネマコンプレックス
228	東京都	町田市	109 シネマズグランベリーパーク	10	シネマコンプレックス
229	東京都	武蔵村山市	イオンシネマむさし村山	12	シネマコンプレックス
230	東京都	多摩市	イオンシネマ多摩センター	8	シネマコンプレックス
231	東京都	日の出町	イオンシネマ日の出	9	シネマコンプレックス
232	神奈川県	横浜市	ムービル	5	シネマコンプレックス
233	神奈川県	横浜市	109 シネマズ港北	7	シネマコンプレックス
234	神奈川県	横浜市	イオンシネマみなとみらい	8	シネマコンプレックス
235	神奈川県	横浜市	TOHO シネマズららぽーと横浜	13	シネマコンプレックス
236	神奈川県	横浜市	イオンシネマ港北ニュータウン	12	シネマコンプレックス
237	神奈川県	横浜市	横浜ブルク13	13	シネマコンプレックス
238	神奈川県	横浜市	TOHO シネマズ上大岡	9	シネマコンプレックス
239	神奈川県	横浜市	T・ジョイ横浜	9	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
240	神奈川県	横浜市	ローゾン・ユナイテッドシネマ STYLE-S みなとみらい	12	シネマコンプレックス
241	神奈川県	横浜市	109 シネマズゆめが丘	10	シネマコンプレックス
242	神奈川県	横浜市	シネマ・ジャック&ベティ	2	ミニシアター / 名画座
243	神奈川県	横浜市	横浜シネマリン	1	ミニシアター / 名画座
244	神奈川県	横浜市	シネマノヴェチェント	1	ミニシアター / 名画座
245	神奈川県	横浜市	キノシネマ横浜みなとみらい	3	ミニシアター / 名画座
246	神奈川県	横浜市	県民共済シネマホール	1	既存興行館
247	神奈川県	横浜市	港南台シネサロン	2	既存興行館
248	神奈川県	横浜市	横浜光音座	2	成人映画館
249	神奈川県	川崎市	チネチッタ	12	シネマコンプレックス
250	神奈川県	川崎市	イオンシネマ新百合ヶ丘	9	シネマコンプレックス
251	神奈川県	川崎市	TOHO シネマズ川崎	9	シネマコンプレックス
252	神奈川県	川崎市	109 シネマズ川崎	10	シネマコンプレックス
253	神奈川県	川崎市	川崎市アートセンター アルテリオ映像館	1	ミニシアター / 名画座
254	神奈川県	相模原市	MOVIX 橋本	9	シネマコンプレックス
255	神奈川県	横須賀市	横須賀HUMAXシネマズ	10	シネマコンプレックス
256	神奈川県	平塚市	シネプレックス平塚	8	シネマコンプレックス
257	神奈川県	藤沢市	109 シネマズ湘南	10	シネマコンプレックス
258	神奈川県	藤沢市	シネコヤ	1	ミニシアター / 名画座
259	神奈川県	小田原市	TOHO シネマズ小田原	9	シネマコンプレックス
260	神奈川県	小田原市	小田原コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
261	神奈川県	小田原市	小田原シネマ館	1	ミニシアター / 名画座
262	神奈川県	茅ヶ崎市	イオンシネマ茅ヶ崎	6	シネマコンプレックス
263	神奈川県	逗子市	シネマ・アミーゴ	1	ミニシアター / 名画座
264	神奈川県	厚木市	あつぎのえいがかんkiki	3	ミニシアター / 名画座
265	神奈川県	海老名市	イオンシネマ海老名	7	シネマコンプレックス
266	神奈川県	海老名市	TOHO シネマズ海老名	10	シネマコンプレックス
267	神奈川県	座間市	イオンシネマ座間	10	シネマコンプレックス
268	新潟県	新潟市	ユナイテッド・シネマ新潟	10	シネマコンプレックス
269	新潟県	新潟市	イオンシネマ新潟西	9	シネマコンプレックス
270	新潟県	新潟市	T・ジョイ新潟万代	8	シネマコンプレックス
271	新潟県	新潟市	イオンシネマ新潟南	9	シネマコンプレックス
272	新潟県	新潟市	新潟シネ・ウインド	1	ミニシアター / 名画座
273	新潟県	長岡市	T・ジョイ長岡	10	シネマコンプレックス
274	新潟県	燕市	イオンシネマ県央	7	シネマコンプレックス
275	新潟県	上越市	J-MAX シアター	8	シネマコンプレックス
276	新潟県	上越市	高田世界館	1	ミニシアター / 名画座
277	新潟県	佐渡市	ガシマシネマ	1	ミニシアター / 名画座
278	富山県	富山市	TOHO シネマズファボーレ富山	10	シネマコンプレックス
279	富山県	富山市	J-MAX シアターとやま	8	シネマコンプレックス
280	富山県	富山市	ほとり座	1	ミニシアター / 名画座
281	富山県	高岡市	TOHO シネマズ高岡	8	シネマコンプレックス
282	富山県	高岡市	御旅屋座(ダフレン)	1	ミニシアター / 名画座
283	富山県	砺波市	イオンシネマとなみ	5	シネマコンプレックス
284	石川県	金沢市	ユナイテッド・シネマ金沢	9	シネマコンプレックス
285	石川県	金沢市	イオンシネマ金沢	8	シネマコンプレックス
286	石川県	金沢市	イオンシネマ金沢フォーラス	9	シネマコンプレックス
287	石川県	金沢市	金沢コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
288	石川県	金沢市	シネモンド	1	ミニシアター / 名画座
289	石川県	小松市	イオンシネマ新小松	7	シネマコンプレックス
290	石川県	かほく市	シネマサンシャインかほく	8	シネマコンプレックス
291	石川県	白山市	イオンシネマ白山	10	シネマコンプレックス
292	福井県	福井市	テアトルサンク	5	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
293	福井県	福井市	福井コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
294	福井県	福井市	福井メトロ劇場	1	ミニシアター / 名画座
295	福井県	敦賀市	敦賀アレックスシネマ	4	既存興行館
296	福井県	鯖江市	鯖江アレックスシネマ	7	シネマコンプレックス
297	山梨県	昭和町	TOHOシネマス甲府	9	シネマコンプレックス
298	山梨県	甲府市	シアターセントラルBe 館	2	既存興行館
299	山梨県	甲州市	塩山シネマ	1	既存興行館
300	長野県	長野市	長野グランドシネマズ	8	シネマコンプレックス
301	長野県	長野市	長野ロキシー / 松竹相生座	3	ミニシアター / 名画座
302	長野県	長野市	長野千石劇場	3	既存興行館
303	長野県	松本市	松本シネマライツ	8	シネマコンプレックス
304	長野県	松本市	イオンシネマ松本	8	シネマコンプレックス
305	長野県	上田市	TOHOシネマス上田	8	シネマコンプレックス
306	長野県	上田市	上田映劇	1	ミニシアター / 名画座
307	長野県	上田市	トラウム・ライゼ	1	ミニシアター / 名画座
308	長野県	岡谷市	岡谷スカラ座	7	シネマコンプレックス
309	長野県	飯田市	飯田常磐劇場	3	既存興行館
310	長野県	飯田市	飯田センゲキシネマズ	4	既存興行館
311	長野県	伊那市	伊那旭座	2	既存興行館
312	長野県	塩尻市	塩尻東座1号館	1	ミニシアター / 名画座
313	長野県	塩尻市	塩尻東座2号館	1	成人映画館
314	長野県	山形村	アイシティシネマ	6	シネマコンプレックス
315	岐阜県	岐阜市	TOHOシネマス岐阜	10	シネマコンプレックス
316	岐阜県	岐阜市	CINEX	3	ミニシアター / 名画座
317	岐阜県	岐阜市	ロイヤル劇場	1	ミニシアター / 名画座
318	岐阜県	岐阜市	岐阜朝日劇場	1	成人映画館
319	岐阜県	大垣市	大垣コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
320	岐阜県	関市	関シネックスマーゴ	8	シネマコンプレックス
321	岐阜県	各務原市	イオンシネマ各務原	10	シネマコンプレックス
322	岐阜県	本巣市	TOHOシネマスモレラ岐阜	12	シネマコンプレックス
323	静岡県	静岡市	MOVIX清水	9	シネマコンプレックス
324	静岡県	静岡市	シネシティザート	10	シネマコンプレックス
325	静岡県	静岡市	静岡シネ・ギャラリー	2	ミニシアター / 名画座
326	静岡県	静岡市	静岡東宝会館	5	既存興行館
327	静岡県	浜松市	TOHOシネマス浜松	9	シネマコンプレックス
328	静岡県	浜松市	TOHOシネマスサンストリート浜北	9	シネマコンプレックス
329	静岡県	浜松市	シネマイーラ	1	ミニシアター / 名画座
330	静岡県	浜松市	シネマハウス新映	1	成人映画館
331	静岡県	沼津市	シネマサンシャイン沼津	8	シネマコンプレックス
332	静岡県	沼津市	シネマサンシャインららぽーと沼津	10	シネマコンプレックス
333	静岡県	三島市	ジョイランドみしま	6	シネマコンプレックス
334	静岡県	富士宮市	イオンシネマ富士宮	6	シネマコンプレックス
335	静岡県	伊東市	金星シネマ	1	ミニシアター / 名画座
336	静岡県	磐田市	TOHOシネマスららぽーと磐田	10	シネマコンプレックス
337	静岡県	藤枝市	藤枝シネ・プレーゴ	7	シネマコンプレックス
338	静岡県	清水町	シネブラザサントムーン	12	シネマコンプレックス
339	愛知県	名古屋市中	中川コロナシネマワールド	12	シネマコンプレックス
340	愛知県	名古屋市中	イオンシネマ ワンダー	10	シネマコンプレックス
341	愛知県	名古屋市中	109シネマス名古屋	10	シネマコンプレックス
342	愛知県	名古屋市中	ミッドランドスクエア シネマ	14	シネマコンプレックス
343	愛知県	名古屋市中	イオンシネマ大高	10	シネマコンプレックス
344	愛知県	名古屋市中	イオンシネマ名古屋茶屋	12	シネマコンプレックス
345	愛知県	名古屋市中	ナゴヤキネマ・ノイ	1	ミニシアター / 名画座
346	愛知県	名古屋市中	シネマスコーレ	1	ミニシアター / 名画座
347	愛知県	名古屋市中	センチュリーシネマ	2	ミニシアター / 名画座

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
348	愛知県	名古屋市中	伏見リオン座	4	ミニシアター / 名画座
349	愛知県	名古屋市中	大須シネマ	1	ミニシアター / 名画座
350	愛知県	名古屋市中	三越映画劇場	1	ミニシアター / 名画座
351	愛知県	名古屋市中	中村映劇	1	成人映画館
352	愛知県	豊橋市	ユナイテッド・シネマ豊橋18	18	シネマコンプレックス
353	愛知県	岡崎市	ユナイテッド・シネマ岡崎	9	シネマコンプレックス
354	愛知県	岡崎市	イオンシネマ岡崎	10	シネマコンプレックス
355	愛知県	一宮市	TOHOシネマス木曾川	10	シネマコンプレックス
356	愛知県	春日井市	春日井ユニオン劇場	1	成人映画館
357	愛知県	豊川市	豊川コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
358	愛知県	豊川市	イオンシネマ豊川	7	シネマコンプレックス
359	愛知県	津島市	TOHOシネマス津島	10	シネマコンプレックス
360	愛知県	刈谷市	刈谷日劇	2	ミニシアター / 名画座
361	愛知県	豊田市	イオンシネマ豊田KiTARA	9	シネマコンプレックス
362	愛知県	安城市	安城コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
363	愛知県	西尾市	鶴城映劇	1	成人映画館
364	愛知県	常滑市	イオンシネマ常滑	9	シネマコンプレックス
365	愛知県	小牧市	小牧コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
366	愛知県	稲沢市	ユナイテッド・シネマ稲沢	9	シネマコンプレックス
367	愛知県	日進市	TOHOシネマス赤池	10	シネマコンプレックス
368	愛知県	みよし市	MOVIX 三好	12	シネマコンプレックス
369	愛知県	長久手市	イオンシネマ長久手	10	シネマコンプレックス
370	愛知県	豊山町	ミッドランドシネマ名古屋空港	12	シネマコンプレックス
371	愛知県	阿久比町	ユナイテッド・シネマ阿久比	9	シネマコンプレックス
372	愛知県	東浦町	TOHOシネマス東浦	9	シネマコンプレックス
373	三重県	津市	イオンシネマ津	7	シネマコンプレックス
374	三重県	津市	イオンシネマ津南	9	シネマコンプレックス
375	三重県	四日市市	109シネマス四日市	9	シネマコンプレックス
376	三重県	桑名市	イオンシネマ桑名	8	シネマコンプレックス
377	三重県	鈴鹿市	イオンシネマ鈴鹿	8	シネマコンプレックス
378	三重県	東員町	イオンシネマ東員	10	シネマコンプレックス
379	三重県	明和町	109シネマス明和	8	シネマコンプレックス
380	三重県	伊勢市	進富座	2	ミニシアター / 名画座
381	三重県	四日市市	ロッポニカ四日市	1	成人映画館
382	三重県	松阪市	松阪大映劇場	1	成人映画館
383	滋賀県	大津市	ユナイテッド・シネマ大津	7	シネマコンプレックス
384	滋賀県	近江八幡市	イオンシネマ近江八幡	8	シネマコンプレックス
385	滋賀県	草津市	イオンシネマ草津	9	シネマコンプレックス
386	滋賀県	甲賀市	水口アレックスシネマ	5	シネマコンプレックス
387	滋賀県	彦根市	彦根ピバシティシネマ	4	既存興行館
388	京都府	京都市	MOVIX 京都	12	シネマコンプレックス
389	京都府	京都市	TOHOシネマス二条	11	シネマコンプレックス
390	京都府	京都市	T・ジョイ京都	12	シネマコンプレックス
391	京都府	京都市	イオンシネマ京都桂川	12	シネマコンプレックス
392	京都府	京都市	京都シネマ	3	ミニシアター / 名画座
393	京都府	京都市	出町座	2	ミニシアター / 名画座
394	京都府	京都市	アップリンク京都	4	ミニシアター / 名画座
395	京都府	京都市	本町館	1	成人映画館
396	京都府	京都市	千本日活	1	成人映画館
397	京都府	福知山市	福知山シネマ	3	既存興行館
398	京都府	舞鶴市	シネ・グルージャ	1	ミニシアター / 名画座
399	京都府	舞鶴市	舞鶴八千代	3	既存興行館
400	京都府	木津川市	イオンシネマ高の原	9	シネマコンプレックス
401	京都府	久御山町	イオンシネマ久御山	8	シネマコンプレックス
402	大阪府	大阪市	なんばパークスシネマ	11	シネマコンプレックス

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
403	大阪府	大阪市	あべのアポロシネマ	9	シネマコンプレックス
404	大阪府	大阪市	TOHOシネマズ梅田	10	シネマコンプレックス
405	大阪府	大阪市	T・ジョイ梅田	7	シネマコンプレックス
406	大阪府	大阪市	大阪ステーションシティシネマ	12	シネマコンプレックス
407	大阪府	大阪市	TOHOシネマズなんば	12	シネマコンプレックス
408	大阪府	大阪市	イオンシネマシアタス心斎橋	7	シネマコンプレックス
409	大阪府	大阪市	シネ・ヌーヴォ / シネ・ヌーヴォX	2	ミニシアター / 名画座
410	大阪府	大阪市	第七藝術劇場 / シアターセブン	2	ミニシアター / 名画座
411	大阪府	大阪市	テアトル梅田 (旧シネ・リーブル梅田)	4	ミニシアター / 名画座
412	大阪府	大阪市	扇町キネマ	1	ミニシアター / 名画座
413	大阪府	大阪市	キノシネマ心斎橋	2	ミニシアター / 名画座
414	大阪府	大阪市	新世界東映	1	ミニシアター / 名画座
415	大阪府	大阪市	新世界国際劇場	1	ミニシアター / 名画座
416	大阪府	大阪市	新世界国際地下劇場	1	成人映画館
417	大阪府	大阪市	日劇シネマ / ローズ	2	成人映画館
418	大阪府	大阪市	上六シネマ	1	成人映画館
419	大阪府	堺市	MOVIX堺	12	シネマコンプレックス
420	大阪府	堺市	TOHOシネマズ鳳	10	シネマコンプレックス
421	大阪府	堺市	TOHOシネマズ泉北	9	シネマコンプレックス
422	大阪府	岸和田市	ユナイテッド・シネマ岸和田	9	シネマコンプレックス
423	大阪府	吹田市	109シネマズ大阪エキスポシティ	11	シネマコンプレックス
424	大阪府	高槻市	高槻アレックスシネマ	9	シネマコンプレックス
425	大阪府	守口市	イオンシネマ大日	8	シネマコンプレックス
426	大阪府	枚方市	ユナイテッド・シネマ枚方	9	シネマコンプレックス
427	大阪府	枚方市	TOHOシネマズくずはモール	10	シネマコンプレックス
428	大阪府	茨木市	イオンシネマ茨木	10	シネマコンプレックス
429	大阪府	八尾市	MOVIX八尾	12	シネマコンプレックス
430	大阪府	松原市	TOHOシネマズセブンパーク天美	10	シネマコンプレックス
431	大阪府	箕面市	109シネマズ箕面	9	シネマコンプレックス
432	大阪府	門真市	TOHOシネマズららぽーと門真	9	シネマコンプレックス
433	大阪府	泉南市	イオンシネマリंकウ泉南	8	シネマコンプレックス
434	大阪府	四條畷市	イオンシネマ四條畷	11	シネマコンプレックス
435	兵庫県	神戸市	109シネマズHAT神戸	10	シネマコンプレックス
436	兵庫県	神戸市	OSシネマズミント神戸	8	シネマコンプレックス
437	兵庫県	神戸市	OSシネマズ神戸ハーバーランド	10	シネマコンプレックス
438	兵庫県	神戸市	シネ・リーブル神戸	3	ミニシアター / 名画座
439	兵庫県	神戸市	元町映画館	1	ミニシアター / 名画座
440	兵庫県	神戸市	キノシネマ神戸国際	4	ミニシアター / 名画座
441	兵庫県	神戸市	シネマ神戸	2	ミニシアター / 名画座
442	兵庫県	神戸市	バルシネマしんこうえん	1	ミニシアター / 名画座
443	兵庫県	神戸市	カナートホール	1	既存興行館
444	兵庫県	神戸市	福原国際東映	1	成人映画館
445	兵庫県	姫路市	アースシネマズ姫路	12	シネマコンプレックス
446	兵庫県	尼崎市	MOVIXあまがさき	11	シネマコンプレックス
447	兵庫県	尼崎市	塚口サンサン劇場	4	既存興行館   ミニシアター / 名画座
448	兵庫県	尼崎市	尼崎パレス	1	成人映画館
449	兵庫県	明石市	イオンシネマ明石	7	シネマコンプレックス
450	兵庫県	西宮市	TOHOシネマズ西宮OS	12	シネマコンプレックス
451	兵庫県	洲本市	洲本オリオン	1	既存興行館
452	兵庫県	伊丹市	TOHOシネマズ伊丹	8	シネマコンプレックス
453	兵庫県	豊岡市	豊岡劇場	2	既存興行館   ミニシアター / 名画座
454	兵庫県	加古川市	イオンシネマ加古川	8	シネマコンプレックス
455	兵庫県	赤穂市	ブラット赤穂シネマ	3	既存興行館

no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
456	兵庫県	宝塚市	シネ・ヒビア	2	ミニシアター / 名画座
457	兵庫県	三田市	イオンシネマ三田ウッディタウン	7	シネマコンプレックス
458	兵庫県	丹波市	エビスシネマ	1	ミニシアター / 名画座
459	奈良県	大和郡山市	シネマサンシャイン大和郡山	9	シネマコンプレックス
460	奈良県	橿原市	TOHOシネマズ橿原	9	シネマコンプレックス
461	奈良県	橿原市	ユナイテッド・シネマ橿原	9	シネマコンプレックス
462	和歌山県	和歌山市	ジストシネマ和歌山	10	シネマコンプレックス
463	和歌山県	和歌山市	イオンシネマ和歌山	10	シネマコンプレックス
464	和歌山県	和歌山市	シネマ203	1	ミニシアター / 名画座
465	和歌山県	御坊市	ジストシネマ御坊	3	既存興行館
466	和歌山県	田辺市	ジストシネマ田辺	3	既存興行館
467	和歌山県	新宮市	ジストシネマ南紀	4	既存興行館
468	鳥取県	鳥取市	鳥取シネマ	2	既存興行館
469	鳥取県	倉吉市	倉吉パープルタウン シネマエポック	3	既存興行館
470	鳥取県	日吉津村	MOVIX日吉津	6	シネマコンプレックス
471	鳥取県	湯梨浜町	ジグシアター	1	ミニシアター / 名画座
472	島根県	松江市	松江東宝5	5	シネマコンプレックス
473	島根県	出雲市	T・ジョイ出雲	10	シネマコンプレックス
474	島根県	益田市	小野沢シネマ	1	ミニシアター / 名画座
475	岡山県	岡山市	イオンシネマ岡山	11	シネマコンプレックス
476	岡山県	岡山市	TOHOシネマズ岡南	10	シネマコンプレックス
477	岡山県	倉敷市	MOVIX倉敷	10	シネマコンプレックス
478	岡山県	岡山市	シネマ・クレール丸の内	2	ミニシアター / 名画座
479	岡山県	岡山市	メルバ	1	既存興行館
480	広島県	広島市	イオンシネマ広島	7	シネマコンプレックス
481	広島県	広島市	109シネマズ広島	9	シネマコンプレックス
482	広島県	広島市	TOHOシネマズ緑井	8	シネマコンプレックス
483	広島県	広島市	イオンシネマ広島西風新都	9	シネマコンプレックス
484	広島県	広島市	八丁座	2	ミニシアター / 名画座
485	広島県	広島市	サロンシネマ	2	ミニシアター / 名画座
486	広島県	広島市	広島横川シネマ	1	ミニシアター / 名画座
487	広島県	広島市	横川有楽座	1	成人映画館
488	広島県	呉市	呉ボボロ	2	既存興行館   ミニシアター / 名画座
489	広島県	尾道市	シネマ尾道	1	ミニシアター / 名画座
490	広島県	福山市	福山エーガル8シネマズ	8	シネマコンプレックス
491	広島県	福山市	福山コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス
492	広島県	福山市	シネマモード	2	ミニシアター / 名画座
493	広島県	東広島市	T・ジョイ東広島	6	シネマコンプレックス
494	広島県	府中町	広島バルト11	11	シネマコンプレックス
495	山口県	下関市	シネマサンシャイン下関	8	シネマコンプレックス
496	山口県	下関市	シネマポスト	1	ミニシアター / 名画座
497	山口県	宇部市	シネマスクエア7	7	シネマコンプレックス
498	山口県	萩市	萩ツインシネマ	2	ミニシアター / 名画座
499	山口県	防府市	イオンシネマ防府	7	シネマコンプレックス
500	山口県	下松市	MOVIX周南	7	シネマコンプレックス
501	徳島県	徳島市	イオンシネマ徳島	9	シネマコンプレックス
502	徳島県	徳島市	ufotable CINEMA	2	ミニシアター / 名画座
503	徳島県	北島町	シネマサンシャイン北島	8	シネマコンプレックス
504	香川県	高松市	イオンシネマ高松東	7	シネマコンプレックス
505	香川県	高松市	ホールソレイユ	2	ミニシアター / 名画座
506	香川県	高松市	ロッポニカ高松	1	成人映画館
507	香川県	宇多津町	イオンシネマ宇多津	7	シネマコンプレックス
508	香川県	綾川町	イオンシネマ綾川	9	シネマコンプレックス
509	愛媛県	松山市	シネマサンシャイン衣山	9	シネマコンプレックス



no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別	no.	都道府県	市区町村	映画館名	スクリーン	種別
510	愛媛県	松山市	シネマルナティック	1	ミニシアター / 名画座	562	熊本県	嘉島町	イオンシネマ熊本	8	シネマコンプレックス
511	愛媛県	今治市	ユナイテッド・シネマ フジグラン今治	6	シネマコンプレックス	563	大分県	大分市	TOHOシネマズ大分わさだ	11	シネマコンプレックス
512	愛媛県	今治市	イオンシネマ今治新都市	7	シネマコンプレックス	564	大分県	大分市	T・ジョイパークプレイス大分	9	シネマコンプレックス
513	愛媛県	新居浜市	TOHOシネマズ新居浜	7	シネマコンプレックス	565	大分県	大分市	TOHOシネマズ アミュプラザおおい	10	シネマコンプレックス
514	愛媛県	東温市	シネマサンシャイン重信	7	シネマコンプレックス	566	大分県	大分市	大分シネマ5	1	ミニシアター / 名画座
515	愛媛県	松前町	シネマサンシャイン エミフルMASAKI	9	シネマコンプレックス	567	大分県	大分市	大分シネマ5 bis	1	ミニシアター / 名画座
516	高知県	高知市	TOHOシネマズ高知	9	シネマコンプレックス	568	大分県	別府市	別府ブルーバード劇場	1	ミニシアター / 名画座
517	高知県	高知市	キネマ ミュージアム	1	ミニシアター / 名画座	569	大分県	別府市	別府南映劇場	1	成人映画館
518	高知県	高知市	高知あたご劇場	1	既存興行館	570	大分県	中津市	セントラルシネマ三光	8	シネマコンプレックス
519	福岡県	福岡市	ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13	13	シネマコンプレックス	571	大分県	日田市	日田シネマテーク・リベルテ	1	ミニシアター / 名画座
520	福岡県	福岡市	T・ジョイ博多	11	シネマコンプレックス	572	大分県	豊後高田市	玉津東天紅	1	ミニシアター / 名画座
521	福岡県	福岡市	TOHOシネマズ ららぽーと福岡	9	シネマコンプレックス	573	宮崎県	宮崎市	セントラルシネマ宮崎	9	シネマコンプレックス
522	福岡県	福岡市	ユナイテッド・シネマ福岡もち	11	シネマコンプレックス	574	宮崎県	宮崎市	ワンダーアティックシネマ	7	シネマコンプレックス
523	福岡県	福岡市	KBCシネマ	2	ミニシアター / 名画座	575	宮崎県	宮崎市	宮崎キネマ館	4	ミニシアター / 名画座
524	福岡県	福岡市	キノシネマ天神	3	ミニシアター / 名画座	576	宮崎県	都城市	シネポート	3	既存興行館
525	福岡県	福岡市	福岡中洲大洋	4	既存興行館	577	宮崎県	延岡市	延岡シネマ	3	既存興行館
526	福岡県	福岡市	TOHOシネマズ天神 ソラリア館	3	既存興行館	578	鹿児島県	鹿児島市	鹿児島ミッテ10	10	シネマコンプレックス
527	福岡県	福岡市	駅前パレス / 駅前ロマン	2	成人映画館	579	鹿児島県	鹿児島市	TOHOシネマズ与次郎	10	シネマコンプレックス
528	福岡県	北九州市	イオンシネマ戸畑	8	シネマコンプレックス	580	鹿児島県	鹿児島市	天文館シネマバラダイス	7	シネマコンプレックス
529	福岡県	北九州市	シネプレックス小倉	10	シネマコンプレックス	581	鹿児島県	姶良市	シネマサンシャイン姶良	9	シネマコンプレックス
530	福岡県	北九州市	T・ジョイリバーウォーク北九州	8	シネマコンプレックス	582	鹿児島県	鹿児島市	ガーデンスシネマ	1	ミニシアター / 名画座
531	福岡県	北九州市	小倉コロナシネマワールド	10	シネマコンプレックス	583	鹿児島県	鹿屋市	リナシアター	1	既存興行館
532	福岡県	北九州市	小倉昭和館	1	ミニシアター / 名画座	584	鹿児島県	奄美市	シネマパニック	1	既存興行館
533	福岡県	北九州市	小倉名画座	2	成人映画館	585	沖縄県	那覇市	シネマQ	9	シネマコンプレックス
534	福岡県	大牟田市	セントラルシネマ大牟田	7	シネマコンプレックス	586	沖縄県	那覇市	桜坂劇場	3	ミニシアター / 名画座
535	福岡県	久留米市	T・ジョイ久留米	10	シネマコンプレックス	587	沖縄県	那覇市	シネマバレット	2	ミニシアター / 名画座
536	福岡県	直方市	TOHOシネマズ直方	9	シネマコンプレックス	588	沖縄県	浦添市	ユナイテッド・シネマ PARCO CITY 浦添	11	シネマコンプレックス
537	福岡県	飯塚市	シネマサンシャイン飯塚	9	シネマコンプレックス	589	沖縄県	沖縄市	シアタードーナツ	1	ミニシアター / 名画座
538	福岡県	大川市	大川シネマホール	1	既存興行館	590	沖縄県	沖縄市	シネマプラザハウス1954	2	ミニシアター / 名画座
539	福岡県	中間市	ユナイテッド・シネマ なかま16	13	シネマコンプレックス	591	沖縄県	宮古島市	よしもと南の島パニパニシネマ	1	既存興行館
540	福岡県	筑紫野市	イオンシネマ筑紫野	9	シネマコンプレックス	592	沖縄県	北谷町	ミハマ7プレックス	8	シネマコンプレックス
541	福岡県	大野城市	イオンシネマ大野城	8	シネマコンプレックス	593	沖縄県	北中城村	シネマライカム	9	シネマコンプレックス
542	福岡県	福津市	TOHOシネマズ福津	10	シネマコンプレックス	594	沖縄県	南風原町	サザンプレックス	7	シネマコンプレックス
543	福岡県	久山町	ユナイテッド・シネマトリアス久山	12	シネマコンプレックス				スクリーン数合計	3709	
544	福岡県	粕屋町	イオンシネマ福岡	9	シネマコンプレックス						
545	佐賀県	佐賀市	イオンシネマ佐賀大和	8	シネマコンプレックス						
546	佐賀県	佐賀市	109シネマズ佐賀	10	シネマコンプレックス						
547	佐賀県	佐賀市	シアター・シエマ	2	ミニシアター / 名画座						
548	佐賀県	唐津市	シアターエンヤ	1	ミニシアター / 名画座						
549	長崎県	長崎市	ユナイテッド・シネマ長崎	8	シネマコンプレックス						
550	長崎県	長崎市	TOHOシネマズ長崎	9	シネマコンプレックス						
551	長崎県	長崎市	長崎セントラル劇場	1	ミニシアター / 名画座						
552	長崎県	佐世保市	佐世保シネマボックス太陽	7	シネマコンプレックス						
553	熊本県	熊本市	ユナイテッド・シネマ熊本	10	シネマコンプレックス						
554	熊本県	熊本市	TOHOシネマズはません	9	シネマコンプレックス						
555	熊本県	熊本市	TOHOシネマズ 熊本サクラマチ	9	シネマコンプレックス						
556	熊本県	熊本市	熊本ピカデリー	10	シネマコンプレックス						
557	熊本県	熊本市	Denkikan	3	ミニシアター / 名画座						
558	熊本県	熊本市	桃劇場	1	成人映画館						
559	熊本県	宇城市	TOHOシネマズ宇城	8	シネマコンプレックス						
560	熊本県	天草市	本渡第一映劇	1	ミニシアター / 名画座						
561	熊本県	菊陽町	TOHOシネマズ光の森	9	シネマコンプレックス						

